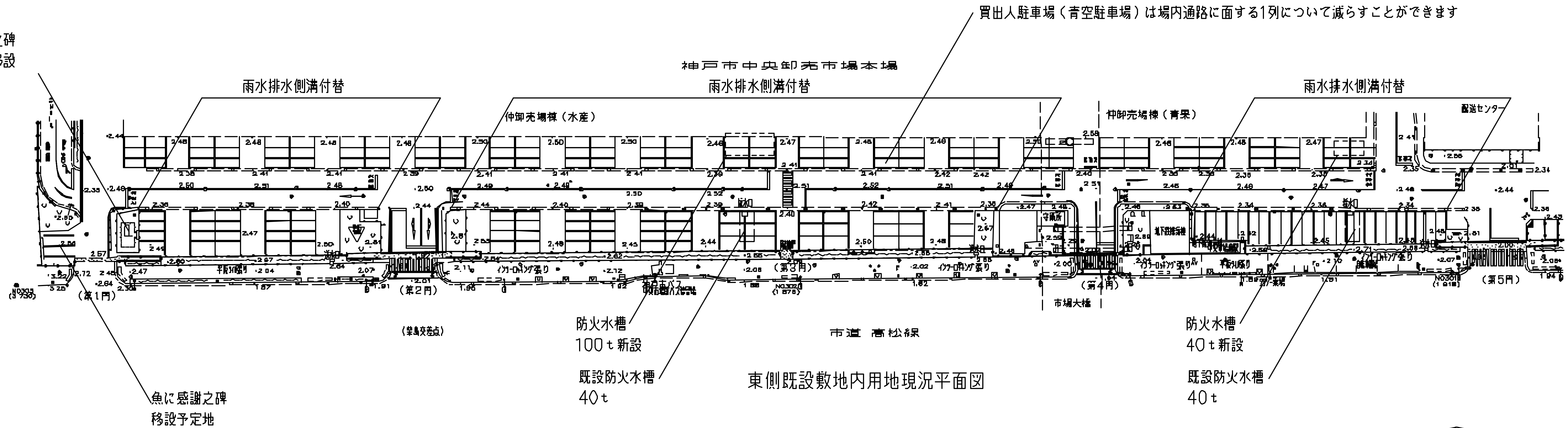
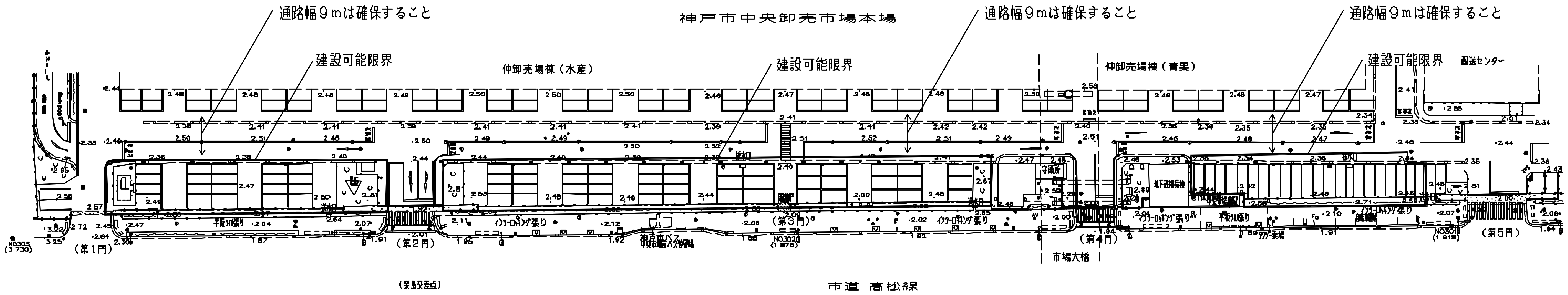
【別添資料】目次

【別添資料 8】	内装工事施工区分概念図	
【別添資料 8】	内装工事施工区分(関連事業所・事務所棟)	
【別添資料 8】	内装工事施工区分(銀行)	
【別添資料 9】	防火用水施設計画資料	
【別添資料 10】	実施設計完了時の提出図書類	
【別添資料 10】	工事着手時の提出図書類	
【別添資料 10】	建設期間中の提出図書類	
【別添資料 10】	竣工に伴う提出図書類	
【別添資料 11】	ＰＲ施設設計・建設要求水準	
【別添資料 12】	発泡スチロール減要設備要求水準	
【別添資料 13】	ダンボール圧縮機概要	
【別添資料 14】	計画対象案内図	
【別添資料 15】	移転対象施設（西側既存施設）清掃業務範囲図	
【別添資料 15】	東側既存施設清掃業務範囲図１階	
【別添資料 15】	東側既存施設清掃業務範囲図２階	



東側既設敷地内用地現況平面図

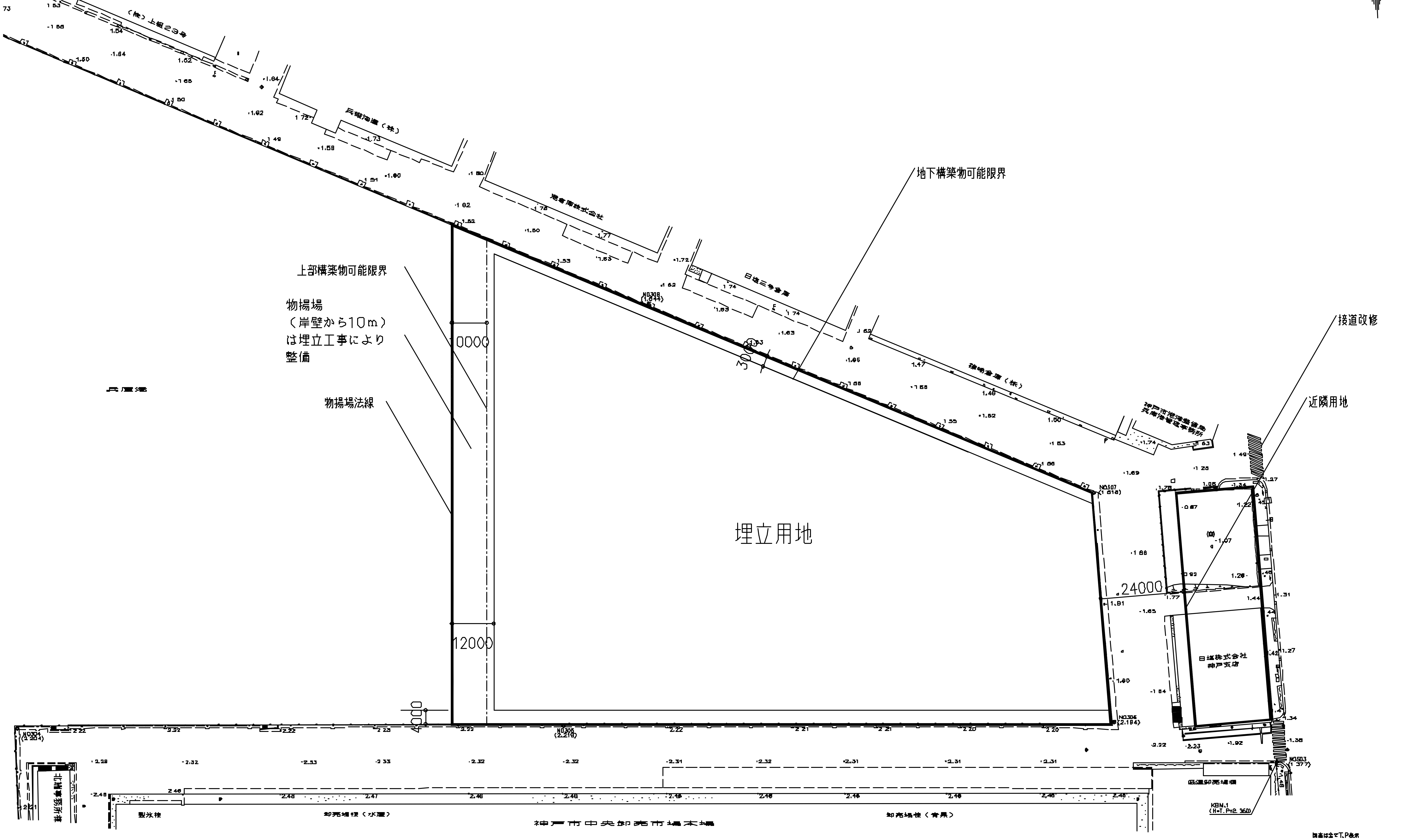


建設可能範囲図

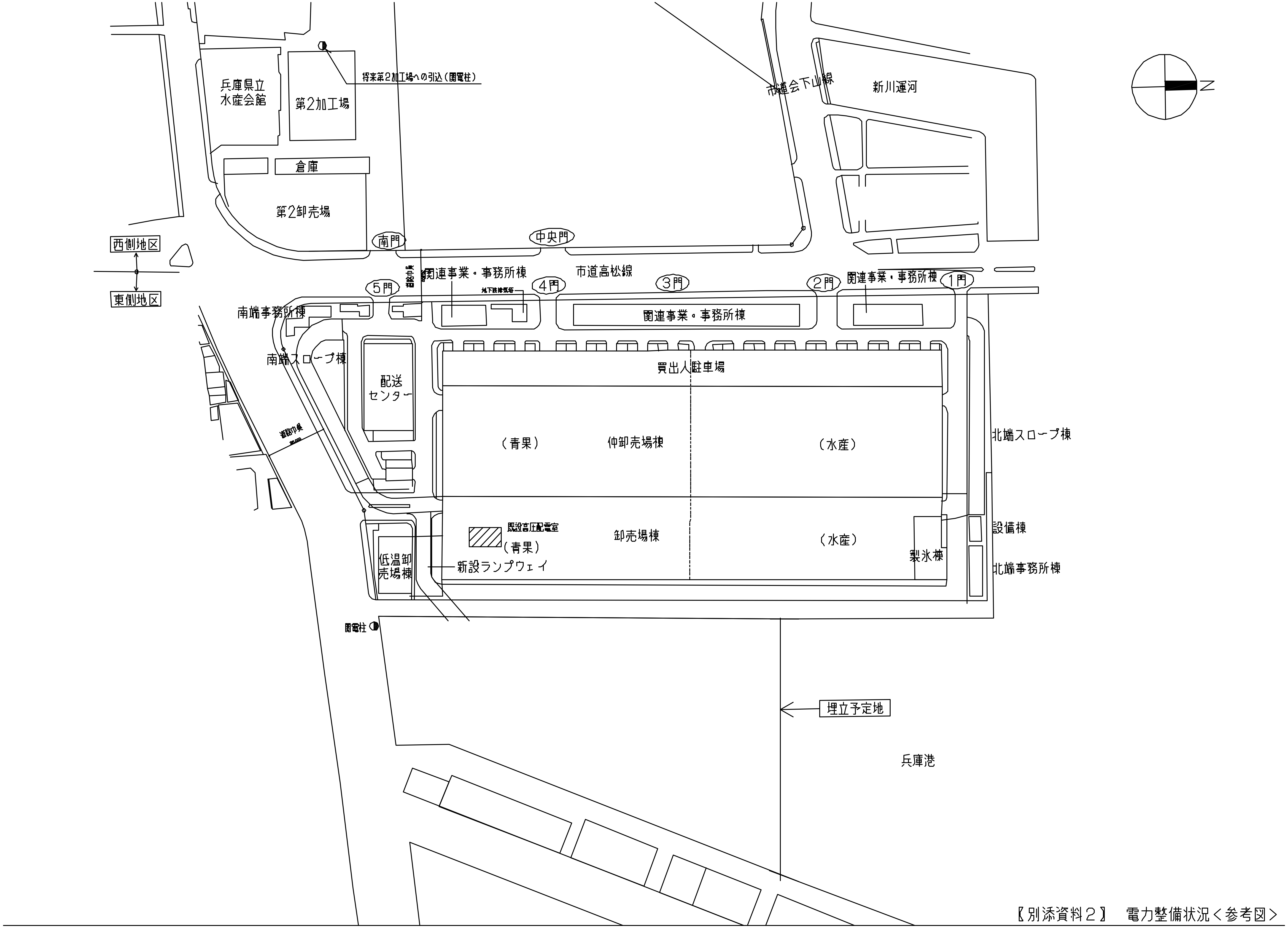
標高は全てT.P.表示

【別添資料1】 現況平面図（1） S=1:1000

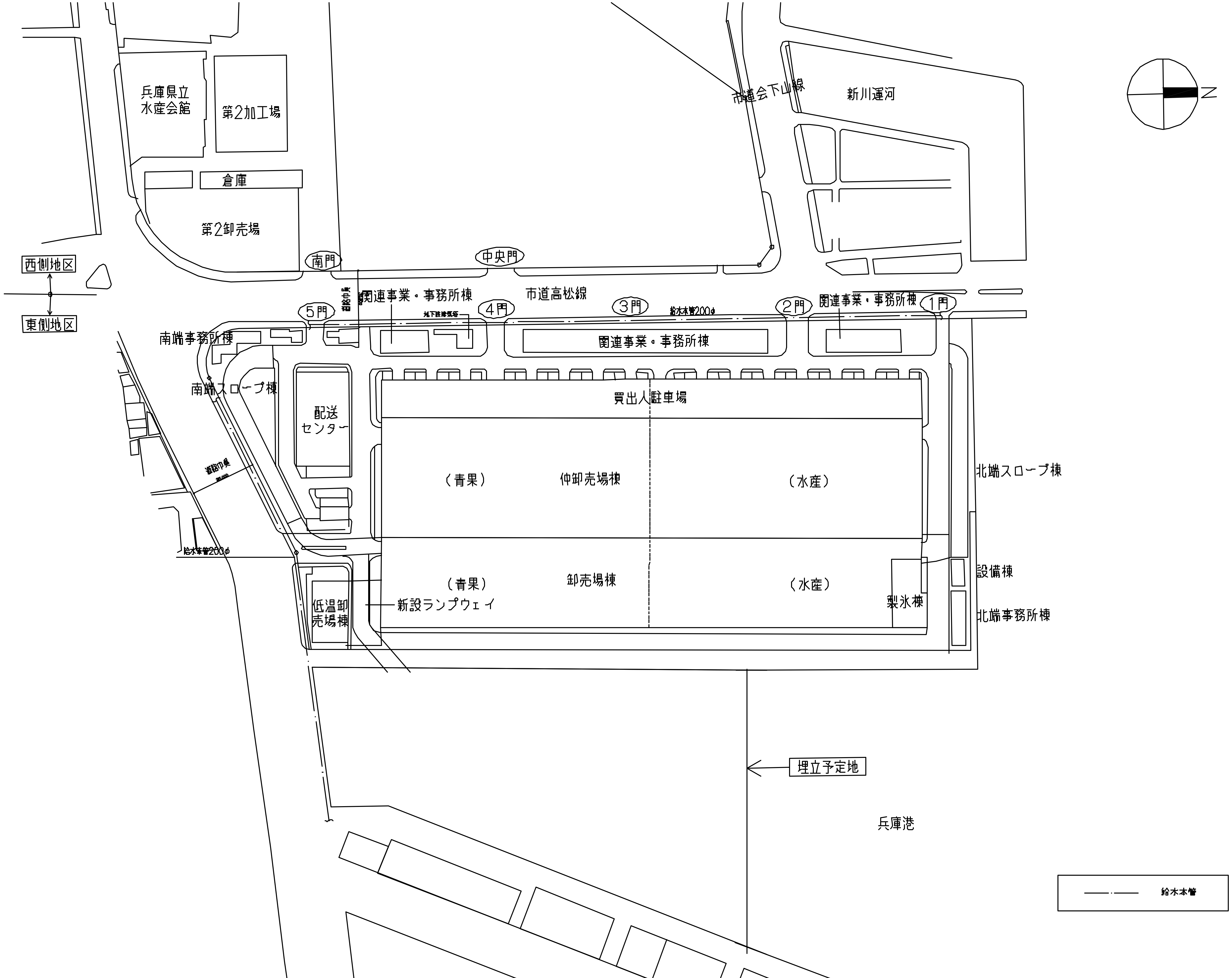
平面図



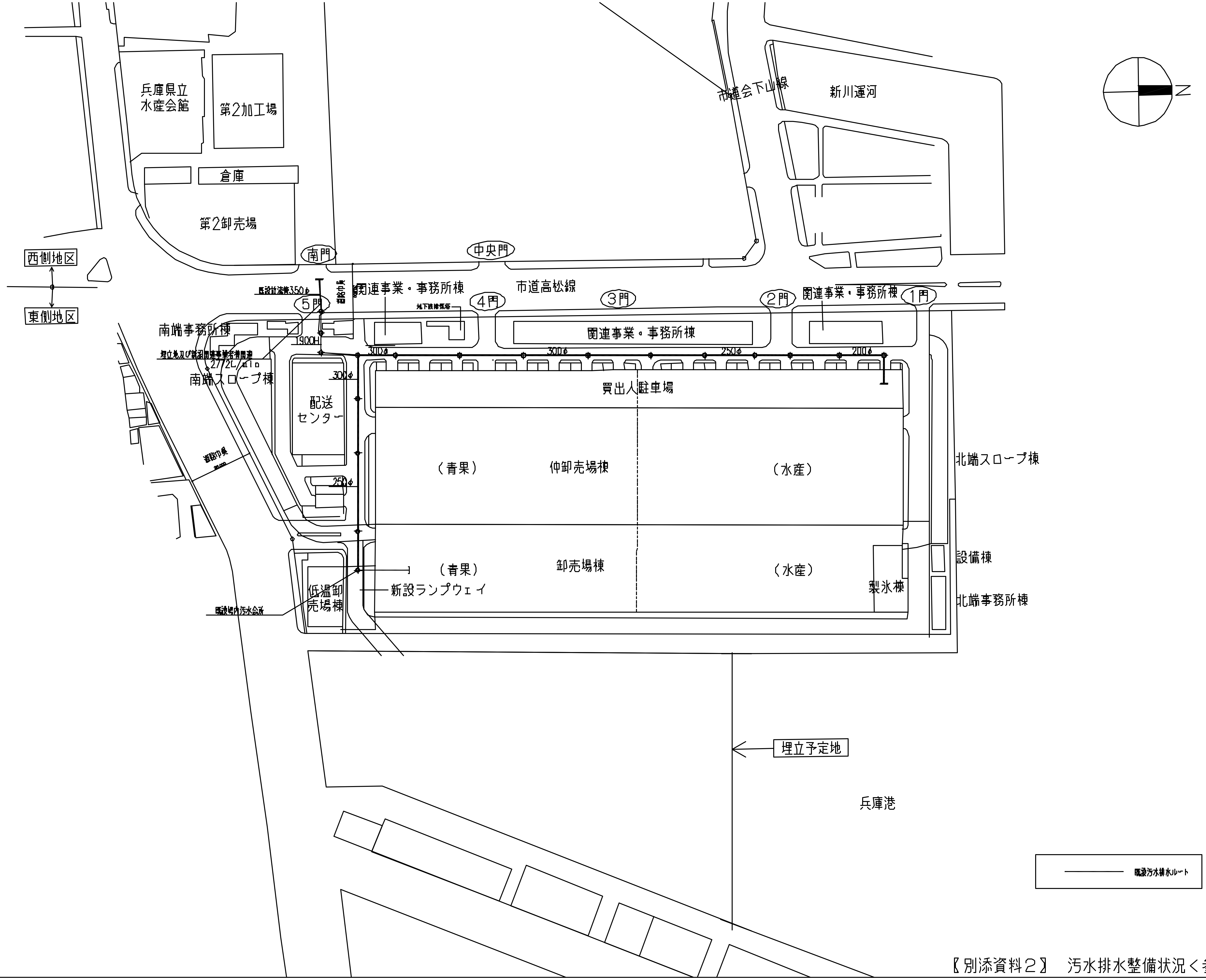
【別添資料1】 現況平面図（2） S=1：1000



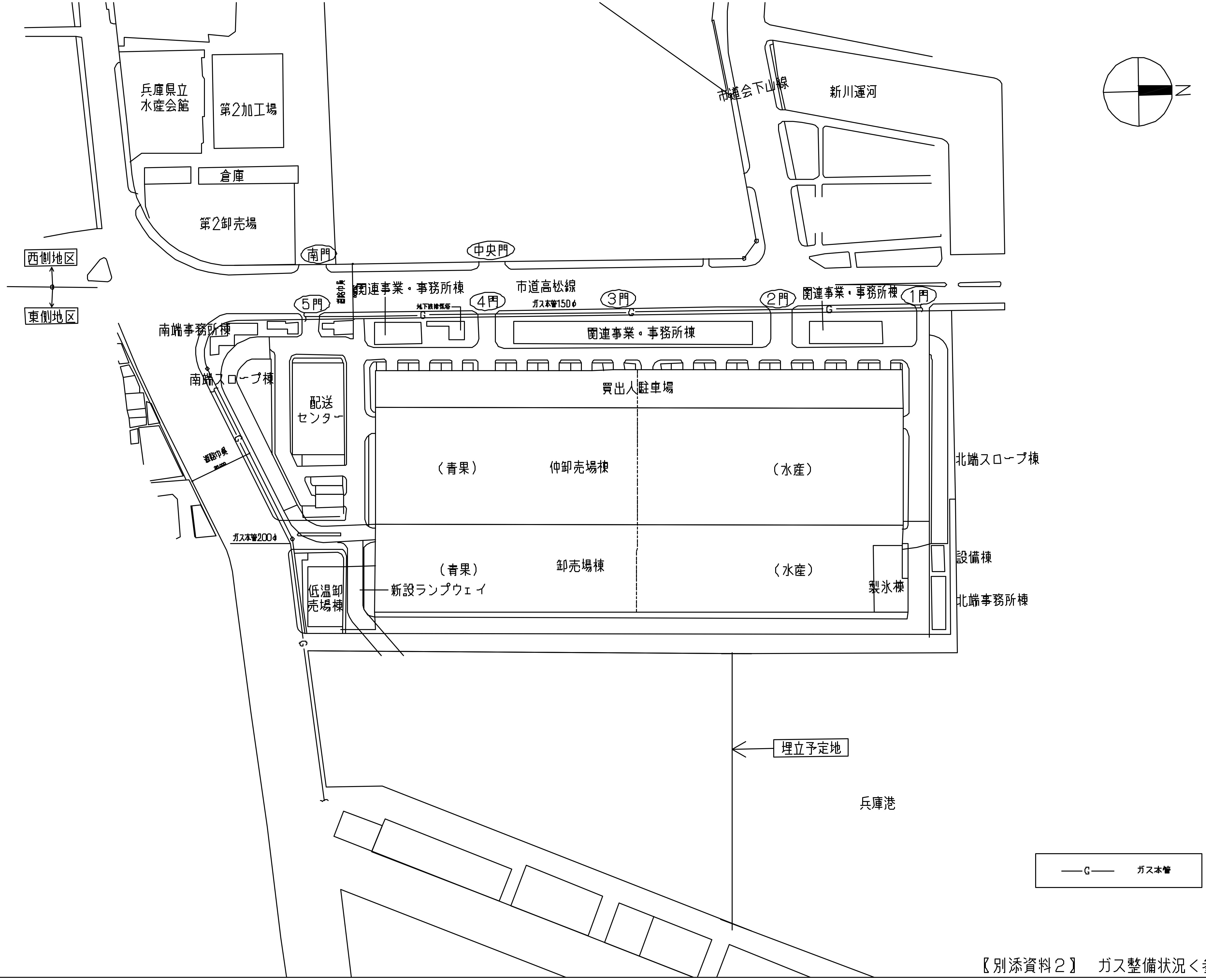
【別添資料２】　電力整備状況＜参考図＞



【別添資料２】　給水整備状況＜参考図＞



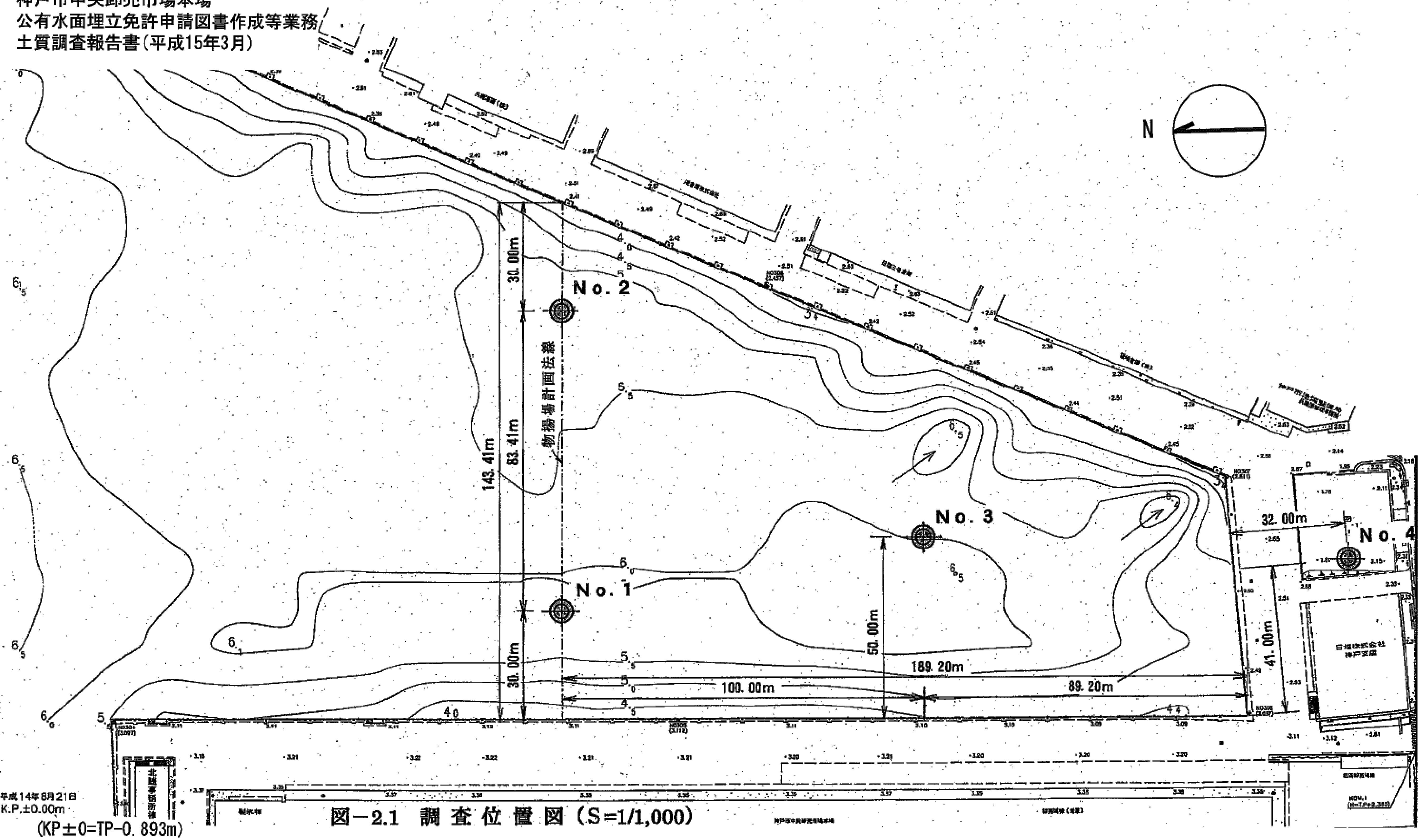
【別添資料２】　汚水排水整備状況＜参考図＞



【別添資料２】　ガス整備状況＜参考図＞

埋立棟計画敷地ボーリング位置図

神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立免許申請図書作成等業務
土質調査報告書（平成15年3月）



図－2.1 調査位置図（S=1/1,000）

【別添資料３】地盤関係資料(1)-2　埋立棟計画敷地ボーリング柱状図
神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立免許申請図書作成等業務
土質調査報告書　　　No. 1ボーリング柱状図
孔口標高ＴＰ-7. 093m(＝ＫＰ-6. 200m)

調　査　名　　神戸市中央区卸売市場本場　公有水面埋立免許申請図書作成業務　　ボーリングNo. NO. 1

事業・工事名

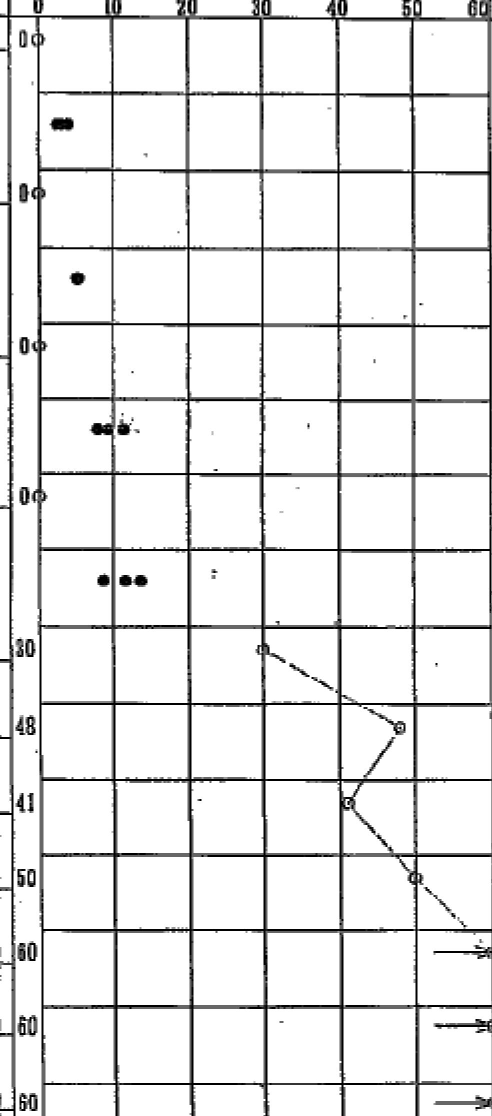
シートNo.

ボーリング名	NO. 1	調査位置	神戸市中之島及築地町地先			北緯	
発注機関	神戸市産業振興局中央卸売市場本場	調査期間	平成14年8月21日～14年8月23日			東経	
調査業者名	(株) 日本港湾コンサルタント　関西支社　電話 (078-251-6168)	主任技師	菊池　孝	現場代理人	森本　伸三	コア鑑定者	山口道則
ボーリング責任者	鶴留　逸夫						
孔口標高	KP -6. 20m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°
総掘進長	14. 35m	使用機種	試錐機 KD－1B	ハンマー落下用具	自動落下装置		
			エンジン NFD12－ME	ポンプ	V6－B		

標高 m	層厚 m	深度 m	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
-6.60	0.40	0.40	浮泥	黒		非常に軟らかい	ヘドロ状を呈する。
-7.50	0.90	1.30	有機質粘土	黒		非常に軟らかい	全体的に有機質である。上部は、礫や砂を少量混入する。
-13.30	5.80	7.10	シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	全体にシルト～微粒砂を少量混入する。貝殻片をやや多く混入する。
-13.90	0.60	7.70	粘土質砂	暗灰	緩い		細砂を主体とする。全体に多量の粘土を混入する。GL-7. 4m付近より径2～10mmの礫を混入する。
-14.60	0.70	8.40	礫混じり砂	暗灰	中位		細～中砂を主体とする。径2～6mmの礫を少量混入する。全体に極少量の粘土を混入する。
-20.55	5.95	14.35	砂礫	淡灰～淡青灰	密な～非常に密な		細～中砂と径～30mmの礫からなる。全体に粘性土を少量混入する。GL-11. 0m付近より淡青灰色になり、粘性土も少なくなる。GL－10. 0～10. 2m間は粘性土を挟在する。ＧＬ-13. 0m付近より、掘進中に逸水がみられる。

標準貫入試験

深度 m	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
0.15～0.45	0	0	0	0/30	0
2.15～2.45	0	0	0	0/30	0
4.15～4.45	0	0	0	0/30	0
6.15～6.45	0	0	0	0/30	0
8.15～8.45	11	10	9	30/30	30
9.15～9.45	21	17	10	48/30	48
10.15～10.45	11	16	14	41/30	41
11.15～11.45	12	16	22	50/30	50
12.15～12.43	20	21	19 / 8	60/28	60
13.15～13.36	23	32	5 / 1	60/21	60
14.15～14.35	28	32		60/20	60



試料採取

標高 m	試料番号	採取方法	室内試験
-6.20～-6.70	P-1	P	
-7.20～[illegible]	T-1	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-8.70	P-2	P	
-9.20～[illegible]	T-2	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-10.70	P-3	P	
-11.20～[illegible]	T-3	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-12.70	P-4	P	
-13.20～[illegible]	T-4	T	物理 一軸
[illegible]～-14.70	P-5	P	比重 粒度
-15.20～-15.70	P-6	P	粒度
-16.20～-16.70	P-7	P	
-17.20～-17.70	P-8	P	粒度
-18.20～-18.65	P-9	P	
-19.20～-19.60	P-10	P	
-20.20～-20.55	P-11	P	

掘進月日　8/21

【別添資料３】地盤関係資料(1)-3　埋立棟計画敷地ボーリング 柱状図
神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立免許申請図書作成等業務
土質調査報告書　　　No. 2ボーリング柱状図
孔口標高ＴＰ-6. 493m(＝ＫＰ-5. 600m)

調　査　名　　神戸市中央区卸売市場本場　公有水面埋立免許申請図書作成業務

ボーリングNo. NO. 2

事業・工事名

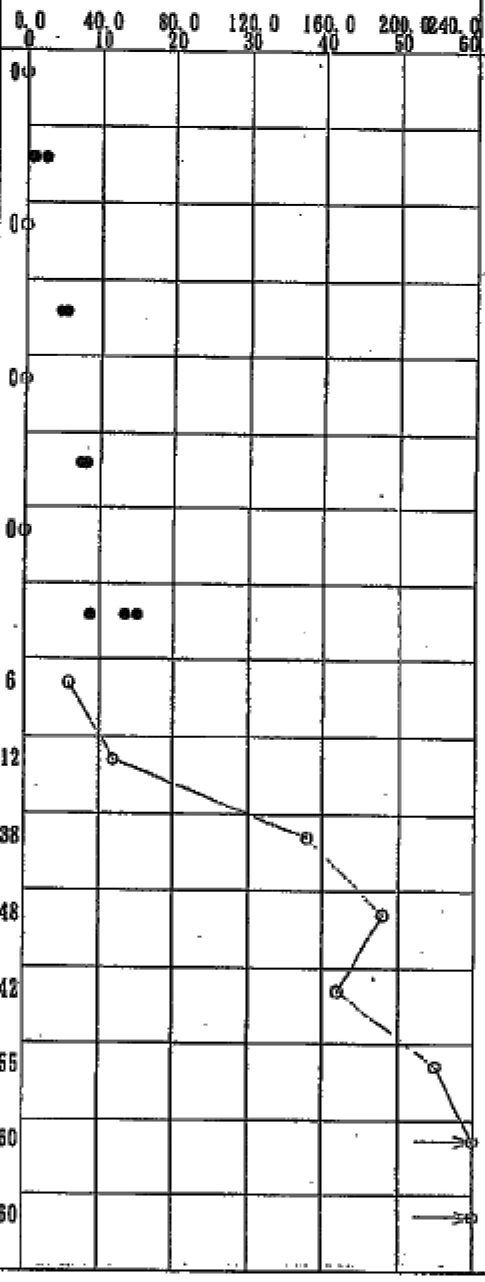
シートNo.

ボーリング名	NO. 2	調査位置	神戸市中之島及築地町地先			北緯	
発注機関	神戸市産業振興局中央卸売市場本場	調査期間	平成14年8月23日～14年8月24日			東経	
調査業者名	(株) 日本港湾コンサルタント 関西支社 電話 (078-251-6168) 主任技師 菊池 孝	現場代理人	森本 伸三	コア鑑定者	山口道則	ボーリング責任者	鶴留 逸夫
孔口標高	KP -5. 60m	角度 180° 上 / 90° / 下 0°	方向 北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地盤勾配 水平 0° / 鉛直 90°	使用機種 試錐機	KD－1B	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	15. 40m				エンジン	NFD12－ME	ポンプ	V6－B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-6. 10	0. 50	0. 50		浮泥	黒		非常に軟らかい	ヘドロ状を呈する。所々、細～中砂及び径２～8mmの礫を混入する。
1	-7. 40	1. 30	1. 80		有機質粘土	黒～暗灰		非常に軟らかい	全体的に有機質である。GL-1. 80m付近に木片を混入する。
2–8	-13. 80	6. 40	8. 20		シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	全体的にほぼ均質。全体にシルトを多量混入する。所々、貝殻片を混入する。GL-2. 0m付近は、径2～6mmの礫を点在する。GL-5. 2～5. 8m間は、縦状に潜在クラックがみられる。最下部は、細～中砂を多量混入する。
	-14. 30	0. 50	8. 70		シルト混じり砂	暗灰	緩い		細砂を主体とする。全体にシルトを多量混入する。
9	-15. 40	1. 10	9. 80		礫混じり砂	灰	中位		細～中砂主体。径2～15mmの礫を点在する。
10	-16. 00	0. 60	10. 40		シルト混じり砂	灰	密な		細砂主体。所々、腐植物片を点在する。
11–15	-21. 00	5. 00	15. 40		砂礫	淡青灰	密な～非常に密な		上部は、細～中砂と径2～10mmの礫からなる。下部は、中～粗砂と径2～30mmの礫からなる。上部は下部に比べ礫分が少ない。

標準貫入試験

孔内水位m／測定月日	深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
	0. 15～0. 45	0	0	0	0/30	0
	2. 15～2. 45	0	0	0	0/30	0
	4. 15～4. 45	0	0	0	0/30	0
	6. 15～6. 45	0	0	0	0/30	0
	8. 15～8. 45	1	2	3	6/30	6
	9. 15～9. 45	4	4	4	12/30	12
	10. 15～10. 45	10	12	16	38/30	38
	11. 15～11. 45	13	16	19	48/30	48
	12. 15～12. 45	12	13	17	42/30	42
	13. 15～13. 45	15	19	21	55/30	55
	14. 15～14. 38	21	27	12/3	60/23	60
	15. 15～15. 40	21	19	20/5	60/25	60



原位置試験（深度 m / 試験名および結果）

試料採取 標高 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
-5. 60～-6. 10	P-1	P		
-6. 60～-7. 60	T-1	T	物理 一軸 圧密	
-7. 60～-8. 10	P-2	P		
-8. 60～-9. 60	T-2	T	物理 一軸 圧密	
-9. 60～-10. 10	P-3	P		
-10. 60～-11. 60	T-3	T	物理 一軸 圧密	
-11. 60～-12. 10	P-4	P		
-12. 60～-13. 60	T-4	T	物理 一軸	
-13. 60～-14. 10	P-5	P	比重 粒度	
-14. 60～-15. 10	P-6	P	比重 粒度	
-15. 60～-16. 10	P-7	P	比重 粒度	8/23
-16. 60～-17. 10	P-8	P	粒度	
-17. 60～-18. 10	P-9	P		
-18. 60～-19. 10	P-10	P	比重 粒度	
-19. 60～-19. 98	P-11	P		
-20. 60～-21. 00	P-12	P		8/24

【別添資料３】地盤関係資料(1)-4　埋立棟計画敷地ボーリング柱状図
神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立免許申請図書作成等業務
土質調査報告書　　　No. 3ボーリング柱状図
孔口標高ＴＰ-7. 293m(＝ＫＰ-6. 400m)

調　査　名　　神戸市中央区卸売市場本場　公有水面埋立免許申請図書作成業務　　　ボーリングNo. NO. 3

事業・工事名

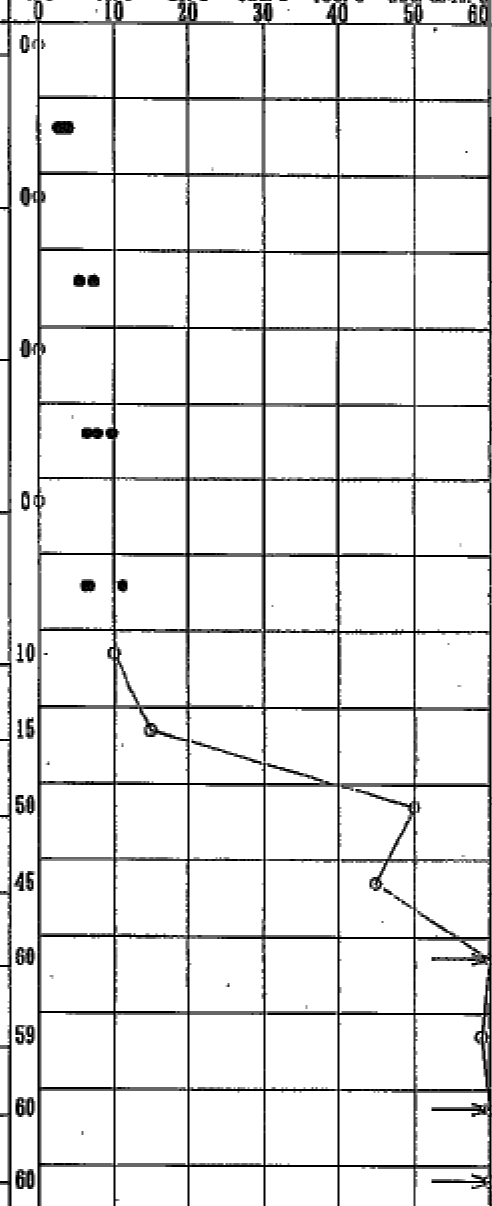
シートNo.

ボーリング名	NO. 3	調査位置	神戸市中之島及築地町地先	北緯	
発注機関	神戸市産業振興局中央卸売市場本場	調査期間	平成14年8月24日～14年8月27日	東経	
調査業者名	(株) 日本港湾コンサルタント 関西支社 電話 (078-251-6168) 主任技師 菊池 孝	現場代理人	森本 伸三 コア鑑定者 山口道則	ボーリング責任者	鶴留 逸夫
孔口標高	KP -6. 40m 角度 180° 上 90° 下 0° 方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	使用機種 試錐機	KD-1B	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	15. 23m	エンジン	NFD12-ME	ポンプ	V6-B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-6. 80	0. 40	0. 40	浮泥	黒		非常に軟らかい	ヘドロ状を呈する。一部に細砂及び径2～10mmの礫を混入する。
	-7. 90	1. 10	1. 50	有機質粘土	黒		非常に軟らかい	全体的に有機質である。
	-13. 40	5. 50	7. 00	シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい	比較的均質な粘土。全体にシルトを多量混入する。所々、貝殻片を点在する。
	-14. 00	0. 60	7. 60	砂混じり粘土	暗灰		非常に軟らかい	全体に多量の細砂を混入する。下部は、細礫の混入も見られる。
	-14. 90	0. 90	8. 50	粘土質砂	暗灰	中位		細砂主体。全体に多量の粘土を混入する。径2～10mmの礫を極少量点在する。
	-16. 00	1. 10	9. 60	礫混じり砂	暗青灰～灰	中位		微細砂主体。径2～20mmの礫を少量混入する。
	-21. 63	5. 63	15. 23	砂礫	淡青灰	密な～非常に密な		GL-12. 0m付近までは、細～中砂と径2～20mmの礫からなる。GL-12. 0m付近以深は、中～粗砂と径2～20mmの礫からなる。最大粒径は、径30mm位である。

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 cm	N値
0. 15～0. 45	0	0	0	0/30	0
2. 15～2. 45	0	0	0	0/30	0
4. 15～4. 45	0	0	0	0/30	0
6. 15～6. 45	0	0	0	0/30	0
8. 15～8. 45	2	3	5	10/30	10
9. 15～9. 45	5	5	5	15/30	15
10. 15～10. 45	21	16	13	50/30	50
11. 15～11. 45	12	15	18	45/30	45
12. 15～12. 40	23	24	13/5	60/25	60
13. 15～13. 45	18	20	21	59/30	59
14. 15～14. 35	28	32		60/20	60
15. 15～15. 23	60/8			60/8	60



試料採取

標高 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
-6. 40～-6. 90	P-1	P		
-7. 40～-8. 40	T-1	T	物理 一軸 圧密	
-8. 40～-8. 90	P-2	P		
-9. 40～-10. 40	T-2	T	物理 一軸	
-10. 40～-10. 90	P-3	P		
-11. 40～-12. 40	T-3	T	物理 一軸 圧密	
-12. 40～-12. 90	P-4	P		
-13. 40～-14. 40	T-4	T	物理 一軸	
-14. 40～-14. 90	P-5	P	比重 粒度	8/24
-15. 40～-15. 90	P-6	P	比重 粒度	
-16. 40～-16. 90	P-7	P	比重 粒度	
-17. 40～-17. 90	P-8	P		
-18. 40～-18. 90	P-9	P	粒度	
-19. 40～-19. 90	P-10	P		
-20. 40～-20. 75	P-11	P		
-21. 40～-21. 63	P-12	P		8/25

【別添資料３】地盤関係資料(1)-5　埋立棟計画敷地ボーリング 柱状図
神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立免許申請図書作成等業務
土質調査報告書　　No. 4ボーリング柱状図
孔口標高ＴＰ+1. 067m(＝ＫＰ+1. 960m)

調　査　名　　神戸市中央区卸売市場本場　公有水面埋立免許申請図書作成業務　　ボーリングNo. NO. 4

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO. 4	調査位置	神戸市中之島及築地町地先			北緯	
発注機関	神戸市産業振興局中央卸売市場本場	調査期間	平成14年8月22日～14年8月24日			東経	
調査業者名	(株) 日本港湾コンサルタント 関西支社 電話 (078-251-6168)	主任技師 菊池 孝	現場代理人 森本 伸三	コア鑑定者 山口 道則		ボーリング責任者	石田 平八郎
孔口標高	KP +1.96m	角度 上180° 下0° 90°	方向 北0° 東90° 南180° 西270°	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機 OP－1	ハンマー落下用具 自動落下装置
総掘進長	24.44m					エンジン NFD10－K	ポンプ MG－5h

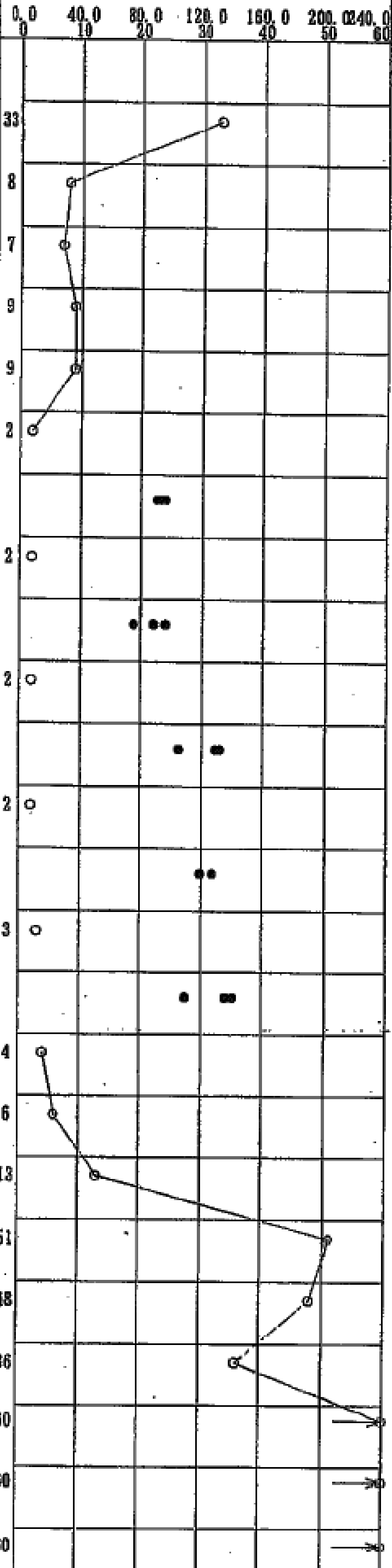
標高 m	層厚 m	深度 m	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
0.10	1.80	1.80	埋立土(砂礫)	灰～茶褐	密な		GL-0.4mまでは、径10～100mm位の瓦礫、コンクリート片を多く混入する。GL-0.4m以深は、中砂主体で、径2～50mmの礫を混入する。
-3.79	3.95	5.75	埋立土(礫混じり砂)	淡褐	緩い		細～中砂主体。砂の粒径は、深度により異なる。径2～20mmの礫を極少量混入する。
-8.39	4.60	10.35	シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい～軟らかい	比較的均質な粘土であるが、浚渫土と思われる。全体にシルトを多量混入する。所々、貝殻片を混入する。GL-8.4m付近に瓦礫を混入する。GL-9.55m付近に、径50mm位の礫を混入する。
-14.04	5.65	16.00	シルト質粘土	暗灰		非常に軟らかい～軟らかい	比較的均質な粘土。全体にシルトを多量混入する。所々、貝殻片を混入する。GL-15.0m付近以深は、少量の細砂を混入する。最下部は、極少量の細礫を混入する。
-14.64	0.60	16.60	砂混じり粘土	暗灰		軟らかい	細～中砂と径2～10mmの礫を混入する。
-16.44	1.80	18.40	粘土質砂	暗灰	緩い～中位		細～中砂主体。径2～10mmの礫を少量混入する。全体に粘土を多量混入する。
-18.54	2.10	20.50	礫混じり砂	淡灰～暗灰	密な		細～中砂主体。径2～20mmの礫を少量混入する。全体に少量の粘土を混入する。
-22.48	3.90	24.44	砂礫	淡青灰	非常に密な		中～粗砂と径2～20mmの礫からなる。

孔内水位 m／測定月日：8/22 0.70

標準貫入試験

深度 m	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15～1.45	15	10	8	33/30	33
2.15～2.45	3	3	2	8/30	8
3.15～3.45	2	2	3	7/30	7
4.15～4.45	2	3	4	9/30	9
5.15～5.45	2	3	4	9/30	9
6.15～6.45	1/16	1/14		2/30	2
8.15～8.49	1/20	1/14		2/34	2
10.15～10.46	1/15	1/15		2/30	2
12.15～12.47	1/20	1/12		2/32	2
14.15～14.49	1/15	1/11	1/8	3/34	3
16.15～16.47	1	1	2/12	4/32	4
17.15～17.46	2	2	2	6/30	6
18.15～18.45	3	3	7	13/30	13
19.15～19.45	14	14	23	51/30	51
20.15～20.45	24	13	11	48/30	48
21.15～21.45	12	12	12	36/30	36
22.15～22.35	25	35		60/20	60
23.15～23.34	28	32/9		60/19	60
24.15～24.44	20	22	18/9	60/29	60

N 値 －○－　一軸圧縮強さ qu (kN/m2) －●－



原位置試験（深度／試験名および結果）：記載なし

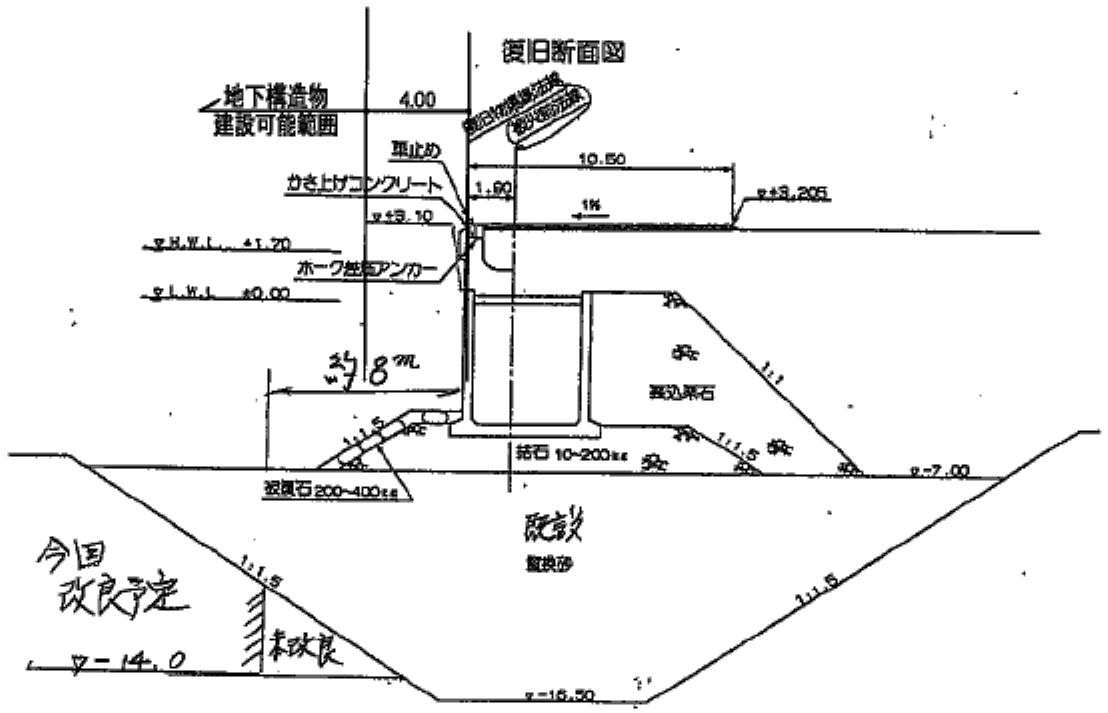
試料採取

標高 m	試料番号	採取方法	室内試験
0.96～0.46	P-1	P	粒度 比重
-0.04～-0.54	P-2	P	粒度 比重
-1.04～-1.54	P-3	P	粒度 比重
-2.04～-2.54	P-4	P	粒度 比重
-3.04～-3.54	P-5	P	粒度 比重
-4.04～-4.54	P-6	P	
-5.04～[illegible]	T-1	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-6.54	P-7	P	
-7.04～[illegible]	T-2	T	物理 一軸
[illegible]～-8.54	P-8	P	
-9.04～[illegible]	T-3	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-10.54	P-9	P	
-11.04～[illegible]	T-4	T	物理 一軸
[illegible]～-12.54	P-10	P	
-13.04～[illegible]	T-5	T	物理 一軸 圧密
[illegible]～-14.54	P-11	P	粒度 比重
-15.04～-15.54	P-12	P	粒度 比重
-16.04～-16.54	P-13	P	粒度 比重
-17.04～-17.54	P-14	P	粒度 比重
-18.04～-18.54	P-15	P	
-19.04～-19.54	P-16	P	粒度 比重
-20.04～-20.20	P-17	P	
-21.04～-21.38	P-18	P	
-22.04～-22.48	P-19	P	

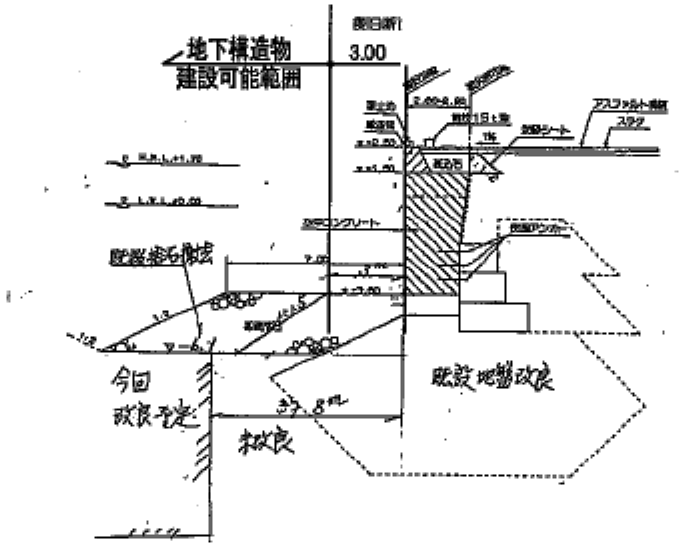
掘進月日：8/22（深度約10.5m）、8/23（深度約24.4m）

埋立部の地下構造部の建設可能範囲①

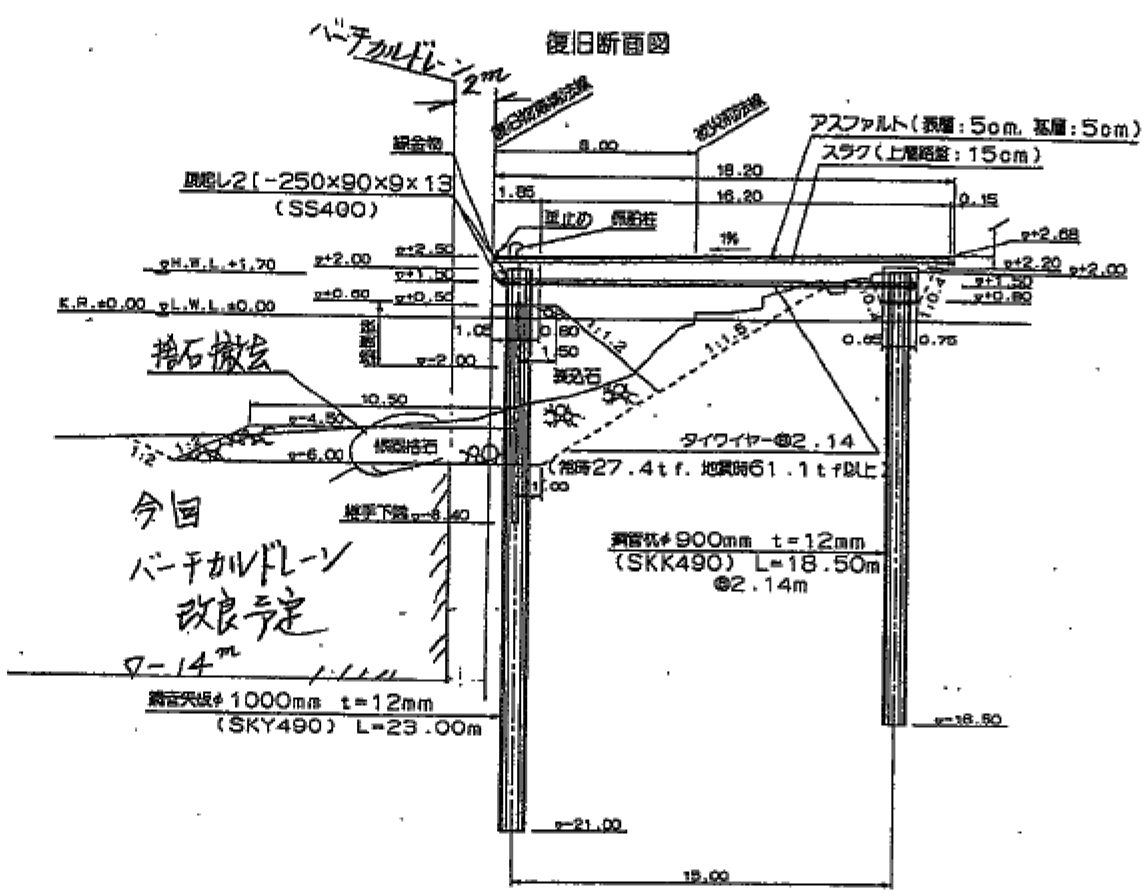
中央市場前断面　S=1:300

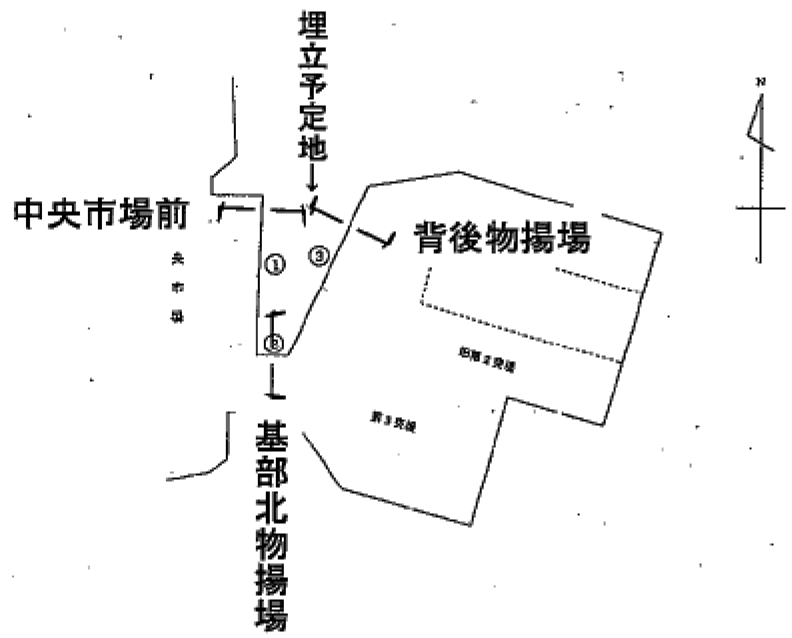


背後物揚場断面　S=1:300



基部北物揚場断面　S=1:300

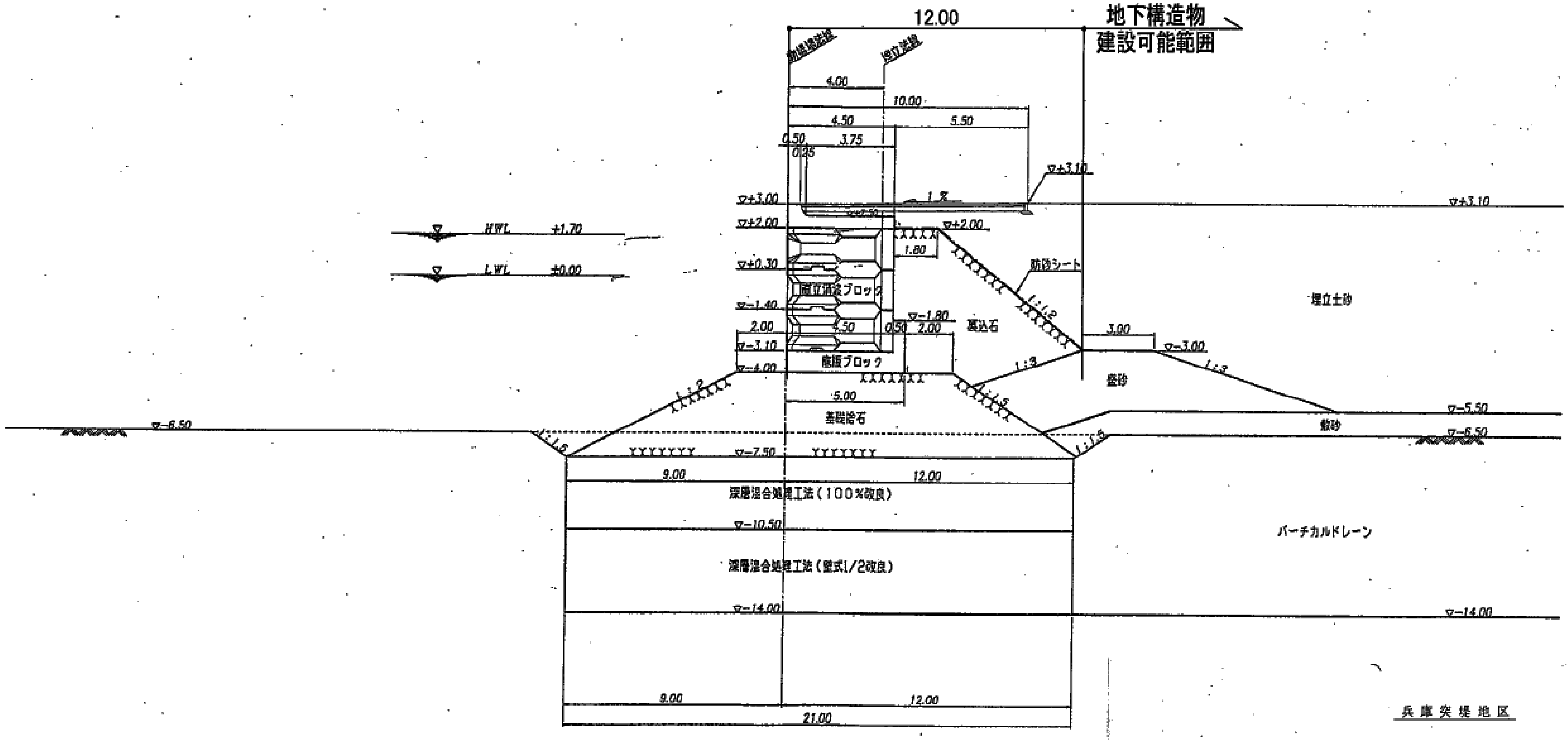


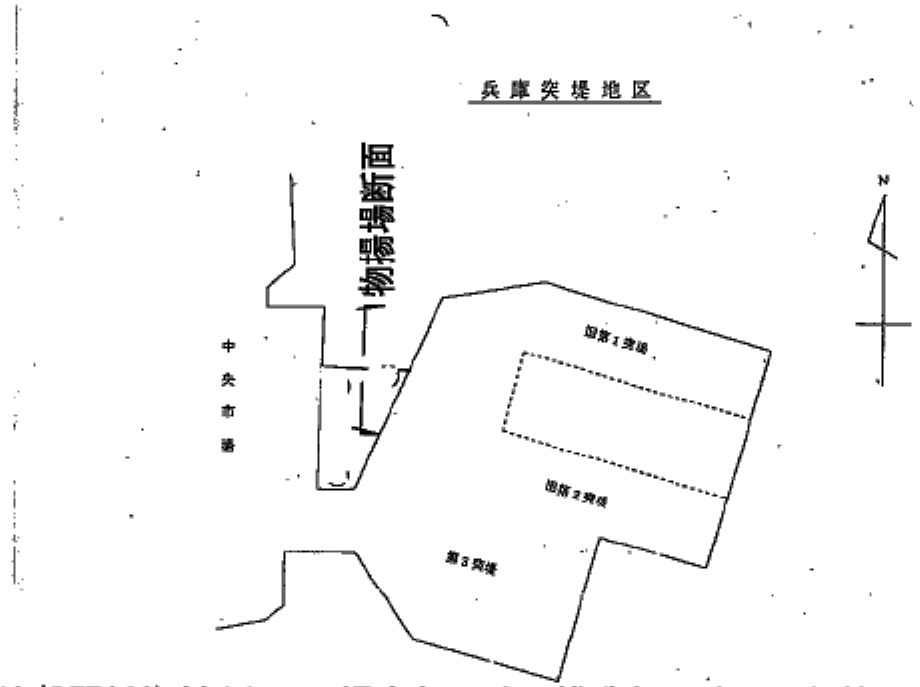


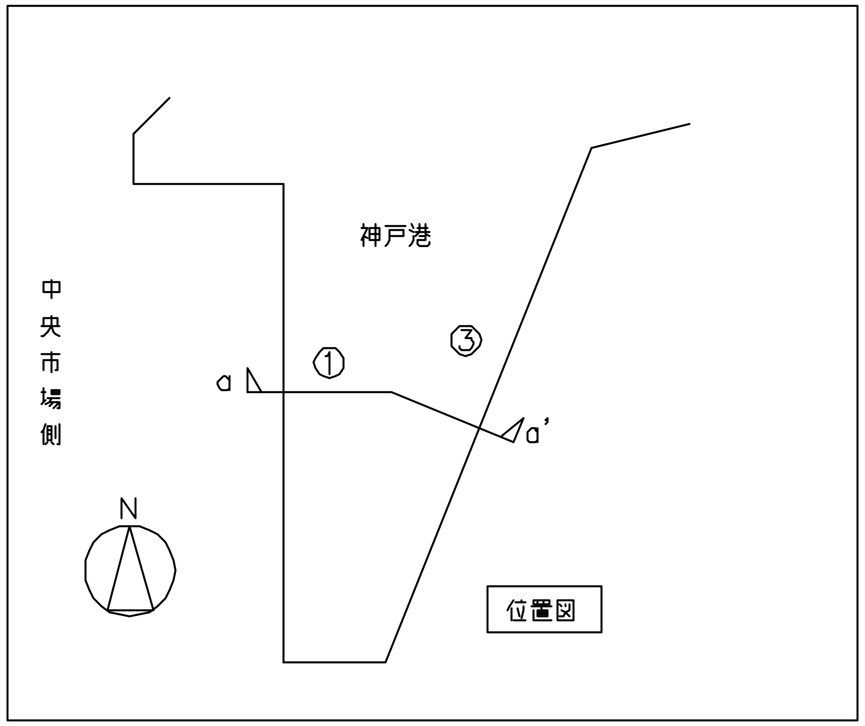
埋立部の地下構造部の
建設可能範囲②

埋立部北側の新設の物揚場付近の地下部の建設可能範囲

埋立部北側
新設の物揚場断面　S=1:200



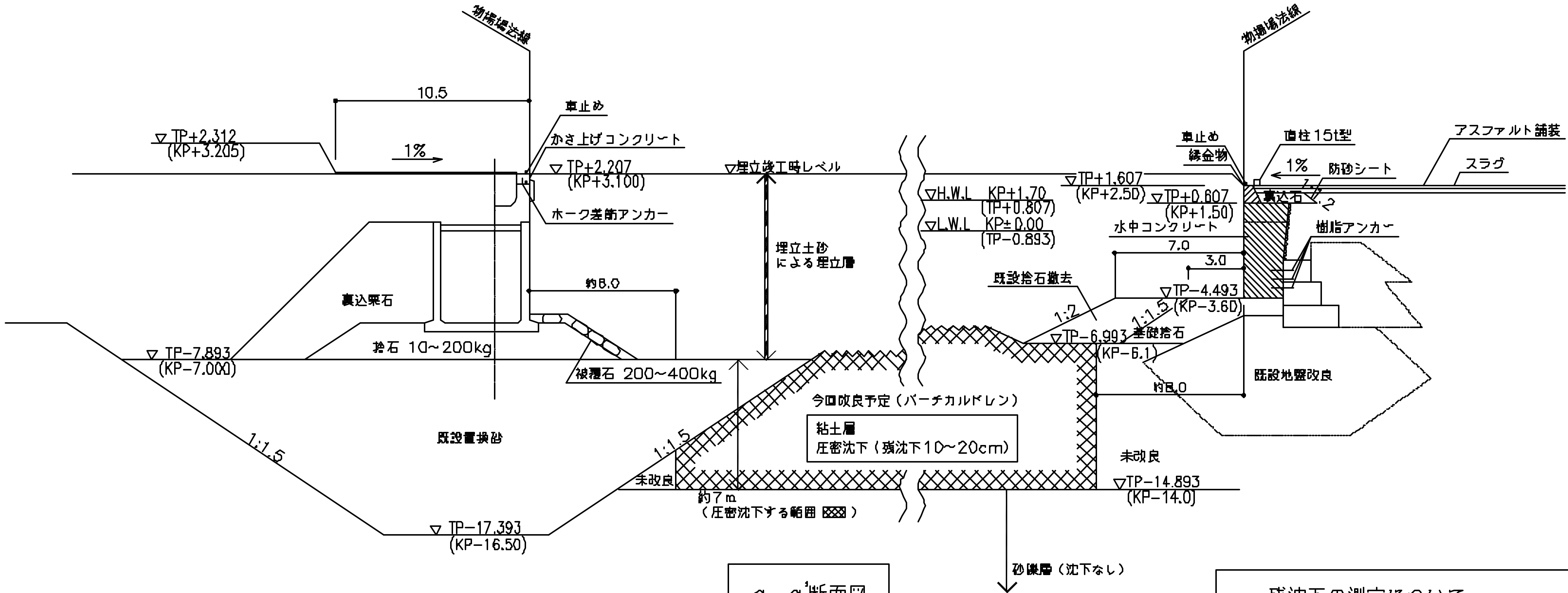




①中央市場側

③背後物揚場

復旧断面図



a−a'断面図

特記無き寸法単位はｍ

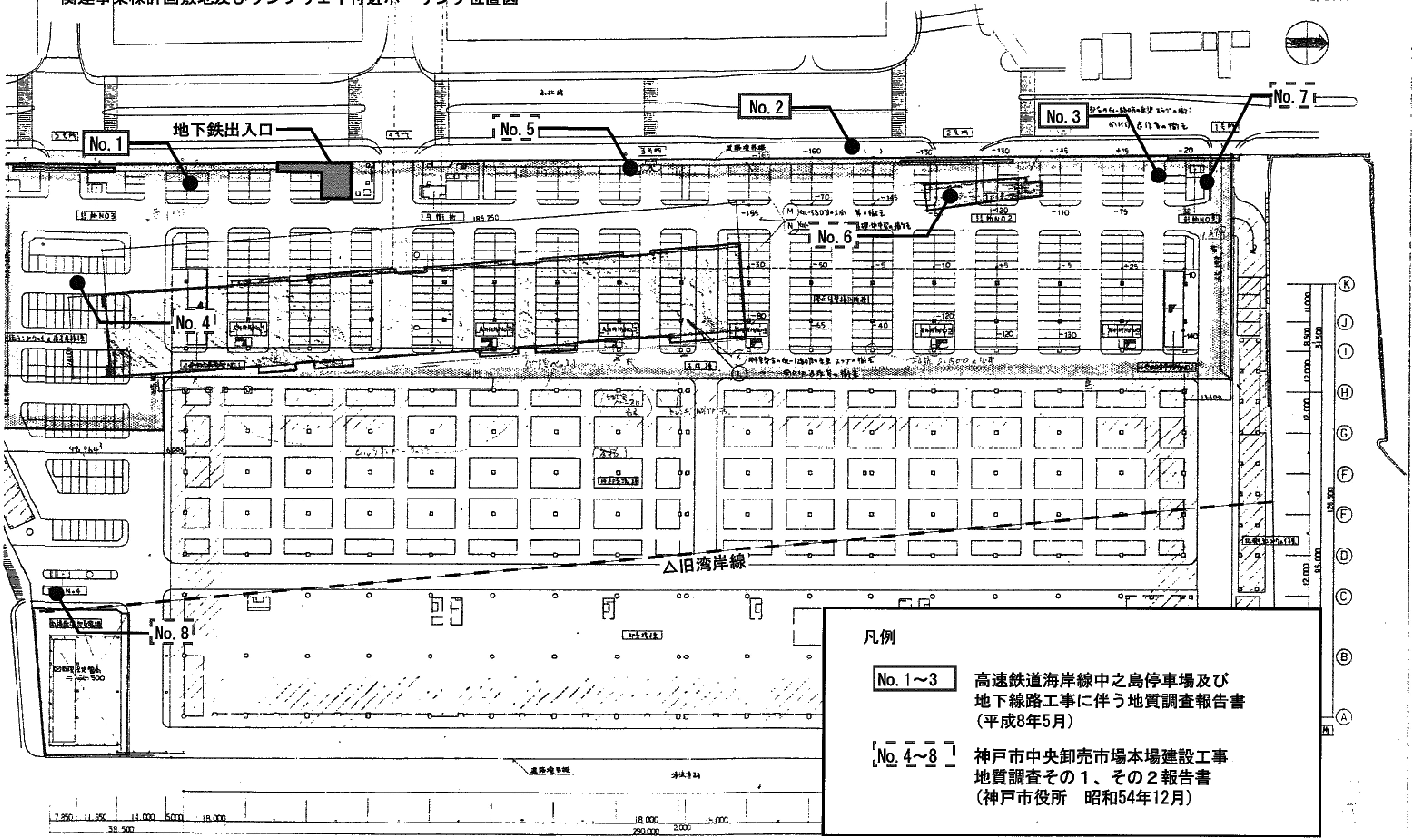
残沈下の測定について

- 残沈下の基準は埋立竣工後からのレベルとする。
- 卸売場棟　東側の適切な不動点を測定基準点として定め、残沈下の測定を行うこと。

【別添資料３】　地盤関係資料(2)-3　埋立部の沈下性状について

関連事業棟計画敷地及びランプウェイ付近ボーリング位置図

S=1/1000



【別添資料3】地盤関係資料(3)-1関連事業棟計画敷地ボーリング

【別添資料3】地盤関係資料(3)-2

No. 1 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書（ボーリング番号 No. 1）

事業・工事名：…線中之島停車場及び地下線路工事に伴…

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	兵庫県神戸市兵庫区中之島	北緯	
発注機関		調査期間	平成 8年 4月 5日～ 8年 4月17日	東経	
調査業者名	鹿島・飛島・大豊共同企業体	主任技師	現場代理人 / コア鑑定者 小林	ボーリング責任者	武市
孔口標高	TP +2.48m	角度 180° 上 / 下 0° / 90°	方向 北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	
総掘進長	50.50m	使用機種	試錐機 カノー製 KR-100H-I型 / エンジン ヤンマー製 NFAD-7型	ハンマー落下用具 コーンプーリー / ポンプ カノー製 V5-P型	

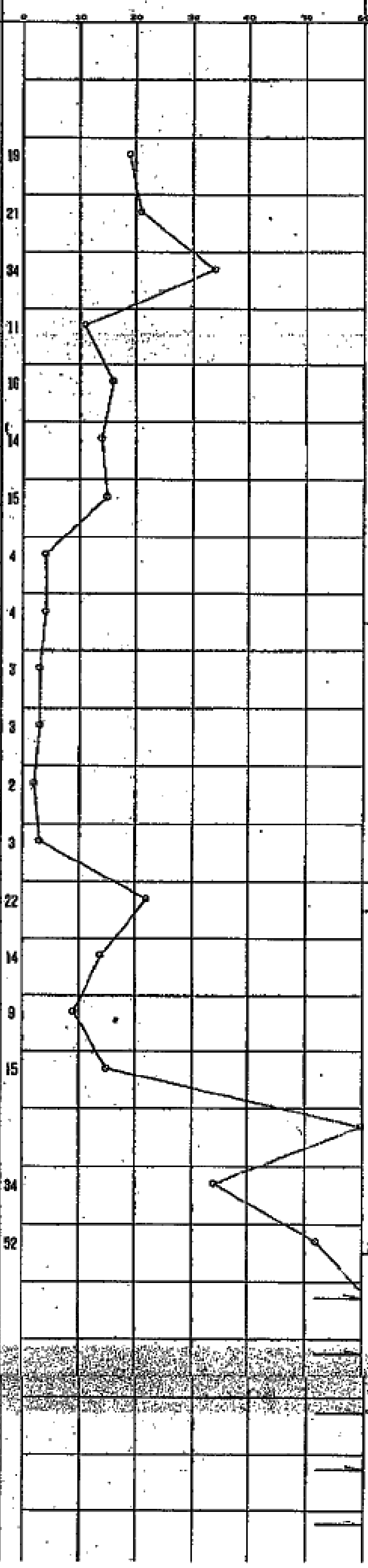
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	0.68	1.80	1.80	盛土（粘土質砂礫）	暗茶灰			アスファルト・コンクリート・ガラ 旧敷石が多い。
2–6	-4.42	5.10	6.90	盛土（礫混りシルト質砂）	淡褐灰～淡青灰	中位～密な		マサ土主体の盛土。砂分は細～粗砂で不均一。上部、部分的にシルト状のヘドロを含む。礫はφ10～30mm位の礫を主体に混入する。GL-3.10mより、含水非常に多い。下部、砂分は中～粗砂主体でやや均一である。
7–8	-6.32	1.90	8.80	砂	淡青灰	中位		含水中位。上部、微～細砂主体で均一である。下部、細～粗砂主体で不均一。
9–10	-7.62	1.30	10.10	砂質シルト・砂	淡青灰	非常に緩い		砂質シルトと砂の互層状。含水中位。砂分は微砂。所々に貝殻片混入。
11–14	-12.32	4.70	14.80	砂質シルト	淡青灰～暗緑灰		軟らかい	含水中～多い。粘性はやや弱い。全体に微砂を混入し、若干粗砂の混入も見られる。貝殻片を混入する。
15–18	-16.27	3.95	18.75	砂	暗灰～暗茶灰	中位～緩い		含水中位～多い。上部、細～中砂主体。GL-16.00～16.75m、微砂主体でシルト分多い。下部、細砂主体で均一。若干のシルト分混入。
19–22	-19.52	3.25	22.00	砂礫	暗青灰	密な～非常に密な		含水多い。砂分は中～粗砂主体であるが、上部、細砂分を混入する。礫は、φ10～30mm亜角礫主体。最大φ50mm位。GL-20.00m付近、砂分多い。
23–26				玉石混り砂礫	淡青灰	非常に密な		含水多い。砂分は中～粗砂主体。所々にシルト分を混入する。礫は、φ5～20mmの円礫主体。所々φ100～150mm玉石が点在する。

孔内水位(m)／測定月日：4/5 3.10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
2.15–2.45	6	6	7	19/30	19
3.15–3.45	6	7	8	21/30	21
4.15–4.45	13	11	10	34/30	34
5.15–5.45	4	5/15	2/5	11/30	11
6.15–6.45	4	6	6	16/30	16
7.15–7.45	4	5	5	14/30	14
8.15–8.45	5	5	5	15/30	15
9.15–9.45	2/15	2/15		4/30	4
10.15–10.45	2/15	2/15		4/30	4
11.15–11.45	1	1	1	3/30	3
12.15–12.45	1	1	1	3/30	3
13.15–13.45	0	1	1	2/30	2
14.15–14.45	1	1	1	3/30	3
15.15–15.45	6	8	8	22/30	22
16.15–16.45	4	5	5	14/30	14
17.15–17.45	2	2	5	9/30	9
18.15–18.45	5	5	5	15/30	15
19.15–19.45	18	21	23	60/30	
20.15–20.45	13	12	9	34/30	34
21.15–21.45	13	22	17	52/30	52
22.15–22.43	19	21	20/8	60/28	
23.15–23.36	22	16/5	22/6	60/21	
24.15–24.39	20	18/5	22/9	60/24	
25.15–25.37	22	28	10/2	60/22	
26.15–26.28	20/5	25/5	15/3	60/13	

N値



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
10.50	LLT
15.00–15.50	現場透水試験
21.50	LLT

試料採取

深度 (m)	試料番号
1.80–2.50	1
2.50–3.50	2
3.50–4.50	3
4.50–5.50	4
5.50–6.00	5
6.00–7.50	6
7.50–8.80	7
8.80–10.10	8
10.10–10.50	9
10.50–11.50	10
11.50–12.50	11
12.50–13.50	12
13.50–14.88	13
14.88–15.50	14
15.50–16.50	15
16.50–17.50	16
17.50–18.50	17
18.50–19.50	18
19.50–20.50	19
20.50–22.00	20
22.00–22.50	21
22.50–23.60	22
23.60–24.50	23
24.50–25.50	24
25.50–26.50	25

室内試験

掘進月日：4/5、4/6、4/8

【別添資料3】地盤関係資料(3)-3

No. 2　高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書（ボーリング番号 No. 25）

柱　状　図　（No.25）

調査地　神戸市兵庫区中之島1丁目　　　　調査年月日　平成6年6月30日～6年7月8日

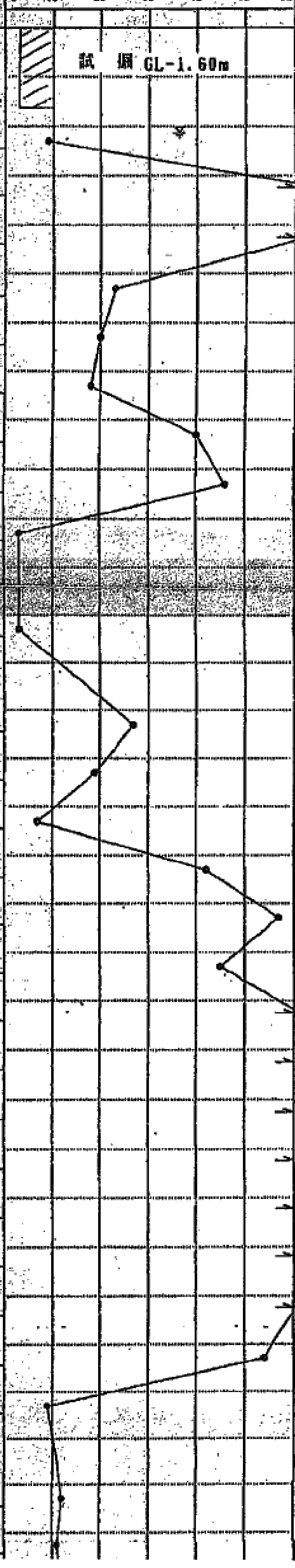
標高　TP 2.19 m　　孔内水位　GL -2.15 m（無水掘水位）　　技術者　畑下昌浩

標高 m	深度 m	層厚 m	色調	土質名	記事
0.59	1.60	1.60	暗褐	盛土	0.15mまでコンクリート。1.6mまで砂質土。
-7.86	10.05	8.45	茶	玉石混り砂礫	40mm以下のれき・砂主体。細粒分少量含み、汚れた感じを受ける砂礫である。4mまで褐色。以下暗灰色。6～7m間の最大コア長9cm。合計長21cm。7～8m間の最大コア長7cm。合計長26cm。8～9m間の最大コア長9cm。合計長23cm。9～10m間の最大コア長8cm。合計長12cm。4m以深は湧水著しい。含水多い。
-11.56	13.75	3.70	暗灰	シルト質粘土	シルト分を多く含む。微細砂を多く混入。含水多く軟らかい。貝殻片を伴う。
-12.66	14.85	1.10	暗灰	細砂	粒径均一。細粒分をあまり含まず、クリーンな砂である。
-13.31	15.50	0.65	暗灰	シルト混り微細砂	シルト分を少量含み、汚れた感じを受ける砂である。
-14.76	16.95	1.45	暗灰	シルト質細砂	粒径比較不均一。シルト分を多く含む。
-16.26	18.45	1.50	暗緑灰	細礫混り粗砂	粒径不均一。10mm以下のれきを伴う。汚れた感じを受ける砂である。
-25.61	27.80	9.35	暗緑灰	砂礫	30mm以下のれき・砂主体。最大径50mm程度。砂は中～粗砂主体で、粒径不均一。22～24m間は、細粒分をあまり含まず、比較的クリーン。このほかは、やや汚れた感じを受ける。全体に、礫間中に少量漏水する。含水多い。
					全体に均質な粘土である。固結している。貝殻片を少量伴う。

原位置試験：逸水 18.70　K値 20.20

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm	20cm	30cm
2.15～2.45	9/30	3	3	3
3.15～3.33	60/16	33	27/6	
4.15～4.37	60/22	28	20	5/2
5.15～5.45	23/30	8	7	8
6.15～6.45	20/30	8	6	6
7.15～7.45	18/30	5	7	6
8.15～8.45	40/30	13	15	12
9.15～9.45	46/30	25	12	9
10.15～10.45	3/30	1	1	1
12.15～12.45	3/30	1	1	1
14.15～14.45	27/30	6	10	11
15.15～15.45	19/30	7	6	6
16.15～16.45	7/30	2	3	2
17.15～17.45	42/30	13	15	14
18.15～18.45	57/30	18	20	19
19.15～19.45	45/30	18	13	14
20.15～20.37	60/22	25	29	6/2
21.15～21.35	60/20	26	34	
22.15～22.36	60/21	25	28	7/1
23.15～23.30	60/15	34	26/5	
24.15～24.27	60/12	46	14/2	
25.15～25.25	60/10	60		
26.15～26.33	60/18	31	29/8	
27.15～27.45	54/30	24	19	11
28.15～28.45	9/30	3	3	3
30.15～30.45	12/30	3	4	5
31.15～	11/30	3	4	4



試料

採取方法	採取深度 m
P	5.15～5.45
	11.00～11.80
P	14.15～14.45
P	26.15～26.33
D	28.50～28.95

【別添資料3】地盤関係資料(3)-4

No. 3 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書（ボーリング番号 No. 2）

事業・工事名 線中之島停車場及び地下線路工事に伴

ボーリングNo.

シートNo.

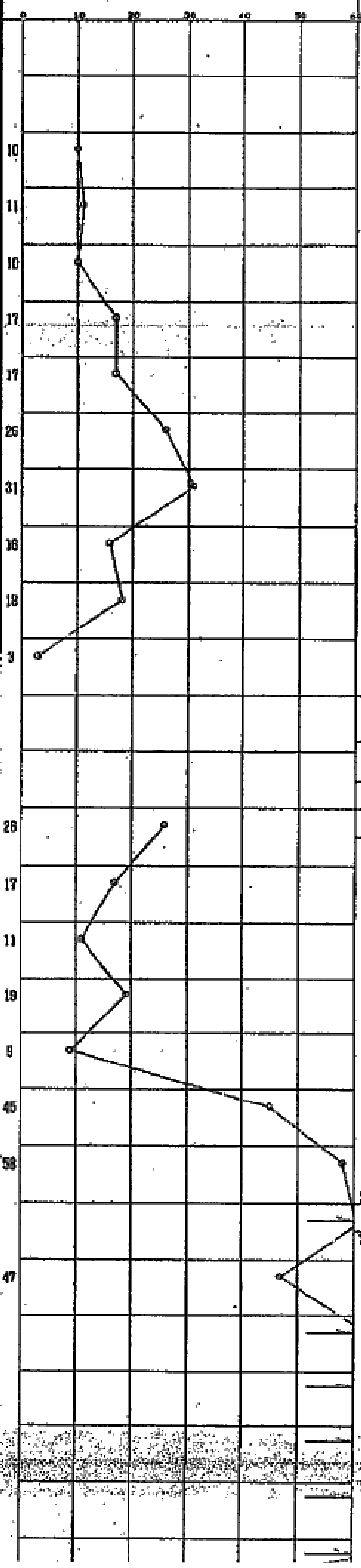
ボーリング名	No. 2	調査位置	兵庫県神戸市兵庫区中之島			北緯	
発注機関		調査期間	平成 8年 3月20日～ 8年 月 日			東経	
調査業者名	鹿島・飛島・大豊共同企業体	主任技師		現場代理人	コア鑑定者 小林 督	ボーリング責任者	田村 功六
孔口標高	TP +2.44m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種 試錐機	ベルマシン製 BELL-MTE	ハンマー落下用具 コーンプーリー
総掘進長	50.29m				エンジン	ヤンマー製，NFAD-7型	ポンプ ベルマシン製 SP-10型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.34	0.10	0.10	アスファルト				アスファルト
	2.09	0.25	0.35	砕石				φ10～20mm主体である。
	-0.91	3.00	3.35	盛土（砂礫）	黒灰	緩い		φ10～30mm程度の礫、ガレキ、レンガ、木片混じる。細～中砂主体で不均一。
	-2.56	1.65	5.00	砂礫	暗茶灰	緩い～中位		砂分は中～粗砂主体。礫はφ2～20mm程度の亜円礫主体。GL-4.00m付近、細砂ポケット状に混入。GL-4.50m付近より湧水有り
	-8.16	5.60	10.60	玉石混り砂礫	茶灰～暗灰	中位～密な		φ10～30mm程度の円礫及び最大φ150～200mmの玉石主体。マトリックスは粗砂主体で混入少ない。GL-5.40m付近、完全湧水する。GL-6.00～7.00m間、φ100mmの玉石主体である。GL-7.80～8.00m間、φ100～150mmの玉石主体である。GL-9.00～10.00m間、φ100～150mmの玉石主体である。湧水激しい。砂の混入少ない。GL-10.00～10.60m間、φ150mmの玉石主体である。
	-11.56	3.40	14.00	砂質シルト	暗緑灰		軟らかい	砂分混入多く、不規則に微細砂レンズ状に混入している。貝殻片少量混入。
	-12.36	0.80	14.80	砂	暗灰	中位		細砂主体。φ2～3mm位の細砂礫混入。若干シルト分帯びる。貝殻片少量混じる。
	-14.16	1.80	16.60	シルト質砂	暗灰	中位		微～細砂主体。シルト分の混入は不規則。GL-16.00m付近、シルト分の混入多い。
	-16.26	2.10	18.70	礫混り砂	暗緑灰	緩い～中位		砂は中～粗砂主体でやや不均一。礫はφ2～5mm位の亜円礫が主体であるが、所々にφ20mm位の円礫を混入する。礫質は花崗岩。GL-18.00m付近、5cm程度砂質シルト混入する。
				砂礫	暗青灰～暗灰～青灰	密な～非常に密な		含水多い。砂は中～粗砂主体で不均一。礫は、φ10～30mm位の亜角～円礫主体。最大φ50～150mm程度の礫を所々に混入する。礫質は花崗岩が主体であるが、チャートの硬礫も若干見られる。全体に若干の粘性土分を帯びる。GL-19.00～20.00m間、φ150mm程度の玉石混入する。GL-21.00m付近、青灰色でシルト少量含む。GL-22.00m以深、砂分多くやや締まりがある。

孔内水位(m)／測定月日: [illegible]

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
2.15～2.45	3	3	4	10/30	10
3.15～3.45	2	3	6	11/30	11
4.15～4.45	4	3	3	10/30	10
5.15～5.45	5	6	6	17/30	17
6.15～6.45	5	5	7	17/30	17
7.15～7.45	7	9	10	26/30	26
8.15～8.45	7	4	20	31/30	31
9.15～9.45	4	7	5	16/30	16
10.15～10.45	5	7	6	18/30	18
11.15～11.45	1	1	1	3/30	3
14.15～14.45	8	8	10	26/30	26
15.15～15.45	6	5	6	17/30	17
16.15～16.45	3	2	6	11/30	11
17.15～17.45	6	6	7	19/30	19
18.15～18.45	6	2	1	9/30	9
19.15～19.45	19	14	12	45/30	45
20.15～20.45	13	19	26	58/30	58
21.15～21.43	20	22	18/8	60/28	
22.15～22.45	15	13	19	47/30	47
23.15～23.44	17	20	23/9	60/29	
24.15～24.39	21	27	12/4	60/24	
25.15～25.38	22	24	14/3	60/23	
26.15～26.35	28	32		60/20	
27.15～	30	30/7		60/17	



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
12.00～12.80	シンウォールサンプリング
12.80～13.50	LLT
14.00～14.50	現場透水試験
21.00～21.80	現場透水試験

試料採取

深度 (m)	試料番号
0.35～1.50	1
1.50～2.50	2
2.50～3.35	3
3.50～5.00	4, 5
5.00～5.50	6
5.50～6.50	7
6.50～7.50	8
7.50～8.50	9
8.50～10.60	10
	11
14.00～14.80	12
14.80～15.50	13
15.50～16.60	14
16.60～17.50	15
17.50～18.70	16
18.70～19.50	17
19.50～20.50	18
20.50～21.50	19
21.50～22.50	20
22.50～23.50	21
23.50～24.50	22
24.50～25.50	23
25.50～26.50	24
26.50～	25

掘進月日: 3/20, 3/21, 3/23, 3/25, 3/26

【別添資料3】地盤関係資料(3)-5

No. 4

神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その１、その２報告書
（ボーリング番号　No. 1）

孔番No. 1　標高 KP+2.95（基準面　）

調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目　自然孔内水位 GL-3.70m（　月　日測定）

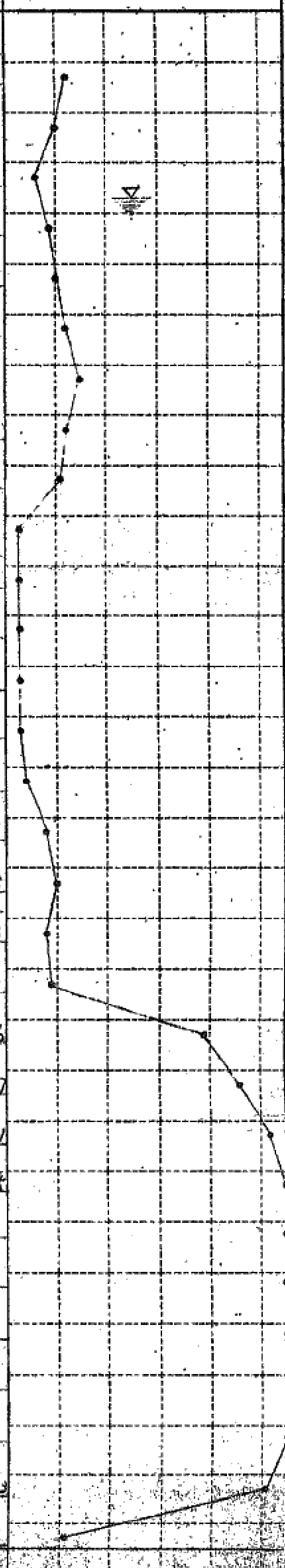
調査年月日 昭和54年10月16日～10月18日　調査員 山本喜代司

B-1 ... による採取
D-2 デニソンサンプラーによる採取
S-3 スカールサンプラーによる採取
2. 試料採取深度と回収比 $\frac{4.00}{45/50}$ 4.50　45／50は回収比

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料 採取記号	試料 採取深度 m
0–5.80		5.80	5.80		埋土	暗褐	上部30cmはコンクリート以下はマサである。処々玉石が介在している。					
5.80–9.70		9.70	3.90		細砂	暗青灰	若干のシルト貝殻片混入する粒径均一の砂。下部若干のシルト含む					
9.70–14.60		14.60	4.90		砂混りシルト	〃	貝殻片、植物が混入し、砂が不規則に介在する。下部砂が多くなる。					
14.60–17.70		17.70	3.10		細砂	青灰	貝殻片及び若干のシルト混入する。					
17.70–19.90		19.90	2.20		シルト混り細砂	暗褐	貝殻片、植物混る					
19.90–22.50		22.50	2.60		砂礫	青灰	φ2～40mmの円～亜角礫を主とし、玉石混る。					
22.50–29.90		29.90	7.40		砂礫	青灰	φ2～40mmの亜角礫を主とし、処々玉石介在している。マトリックスは中～粗砂である。					
29.90–30.50		30.50	0.60		粘土							

標準貫入試験

深度 m	N値 回/30cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1	12	4	4	4
2	10	4	3	3
3	6	3	2	1
4	9	3	3	3
5	10	4	3	3
6	12	4	4	4
7	15	5	6	4
8	12	4	4	4
9	11	4	4	3
10	3	1	1	1
11	3	1	1	1
12	3	1	1	1
13	3	1	1	1
14	3	1	1	1
15	4	1	1	2
16	8	2	2	4
17	10	4	3	3
18	8	2	3	3
19	9	3	3	3
20	39	11	12	16
21	46	14	15	17
22	54	14	19	21
23	60/25	26	26	11/5
24	60/16	32	28/6	
25	60/14	39	21/4	
26	60/13	45	15/3	
27	60/13	48	12/3	
28	60/17	36	24/7	
29	51	23	15	13
30	11	3	4	4



【別添資料3】地盤関係資料(3)-6

No. 5　神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その１、その２報告書
（ボーリング番号　No. 4）

ボーリングNo. 4

調査場所　神戸市兵庫区中之島1丁目　　孔内水位 GL-1.80m

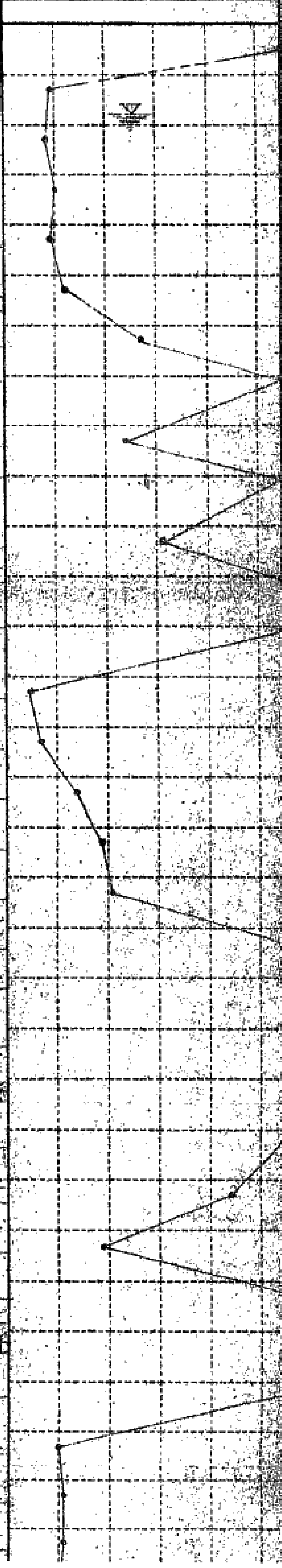
調査年月日　昭和54年10月20日～10月26日　調査員　三谷[illegible]

D-2　デニソンサンプラーによる採取
S-3　スチールサンプラーによる採取
2. 試料採取深度と回収比 4.00 / 45/50 / 4.50　45/50は回収比

深度 m	層厚 m	地質名	色調	観察
0.90	0.90	盛土	灰白	コンクリート・砂利・転石 捨石
7.00	6.10	砂礫	茶	φ2～5mmの細礫を主とし粗砂混り[illegible]。下部玉石介在する
12.60	5.60	転石	茶灰白	花崗岩質の捨石転石を主としコアで採取している[illegible]。部分的に[illegible]
13.90	1.30	シルト混り砂	茶褐	粗砂を主とし細レキ混入する
17.80	3.90	礫混り砂	暗灰	φ2～20mmの亜角礫混る粗砂である。
27.60	9.80	砂礫	青灰	19.00～19.70間転石介在する。φ2～20mmの亜角礫を主とし粗砂が混入[illegible]不規則に[illegible]介在している。24m近辺砂分多く[illegible]
				細砂の薄層[illegible]状に挟在する。

標準貫入試験

深度 m	N値 回/30cm	10cm	20cm	30cm
0	60/1			
1	9	1	5	3
2	8	2	4	2
3	10	3	3	4
4	9	3	3	3
5	12	4	3	5
6	27	6	12	9
7	60/7			
8	24	7	11	6
9	60/5			
10	31	15	9	7
11	60/5			
12	60/5			
13	5	1	2	2
14	7	2	2	3
15	14	4	5	5
16	19	6	6	7
17	21	6	7	8
18	60	13	22	25
19	60/8			
20	60/20	20	33	[illegible]
21	60/28	[illegible]	[illegible]	[illegible]
22	60/20	25	35	
23	44	16	13	15
24	19	6	5	8
25	60/[illegible]	[illegible]	[illegible]	
26	60/38	[illegible]	[illegible]	[illegible]
27	60/15	[illegible]	[illegible]	
28	10	3	3	4
29	11	3	4	4
30	11	3	4	4



【別添資料3】地盤関係資料(3)-7

No.6

神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その１、その２報告書
（ボーリング番号　No.5）

孔番 No. 5　標高 KP+2.17

調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目　自然孔内水位 GL-1.60m（基準面　月　日測定）

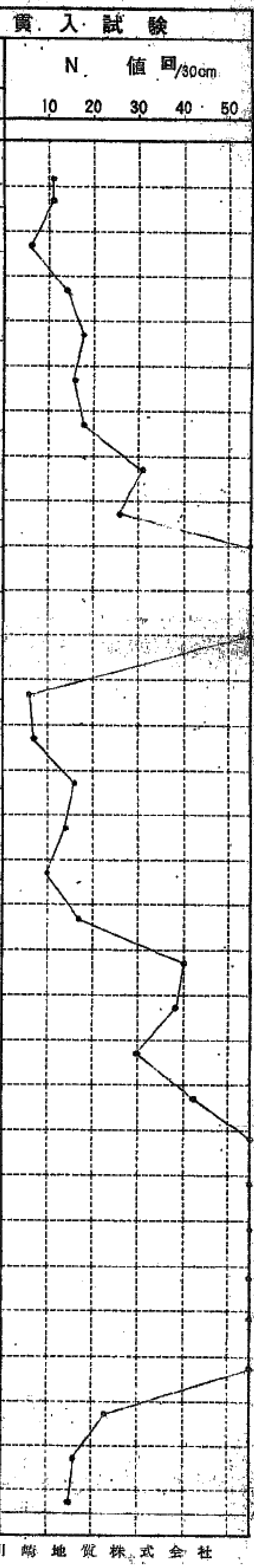
調査年月日 昭和54年10月27日～10月30日　調査員 宮谷豊[illegible]

D-2 デニソンサンプラーによる採取
S-3 スチールサンプラーによる採取
2. 試料採取深度と回収比 4.00 / 45/50 / 4.50　45／50は回収比

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料 採取記号	試料 採取深度 m
0–0.50		0.50	0.50		コンクリート	灰白						
0.50–9.00		9.00	8.50		砂礫	茶褐	φ2～20mmの亜円礫を主とし粗砂より成る。上部有機物混入する。下部玉石不規則に介在する。					
9.00–11.30		11.30	2.30		転石	茶	花崗岩質の転石である。					
11.30–13.60		13.60	2.30		砂混りシルト	暗灰	有機物混入する					
13.60–17.70		17.70	3.90		シルト混り砂	暗灰	細～中砂を主として植物片混る。シルトはレンズ状に挟んでいる。					
17.70–27.50		27.50	9.80		砂礫	青灰						
27.50–28.40		28.40	0.90		粘土混り砂礫	暗褐						
28.40–30.50		30.50	2.10		砂混り粘土	暗青灰						

標準貫入試験

深度 m	N値 回/30cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
0	11	2	6	3
1	11	3	3	5
2	6	2	2	2
3	14	3	5	6
4	18	5	7	6
5	16	4	6	6
6	18	7	6	5
7	31	9	13	9
8	26	12	8	6
9	60/3			
10	60/2			
11	60/1			
12	6	1	3	2
13	7	3	2	2
14	16	6	5	5
15	14	5	4	5
16	10	3	3	4
17	17	4	6	7
18	40	11	16	13
19	38	13	10	15
20	30	9	9	12
21	42	10	18	14
22	60/25	17	20	23/5
23	60/20	24	36	
24	60/15	32	28/5	
25	60/10			
26	60/15	36	24/5	
27	60	18	22	20
28	23	10	8	5
29	16	5	5	6
30	15	5	5	5



川崎地質株式会社

【別添資料3】地盤関係資料(3)-8

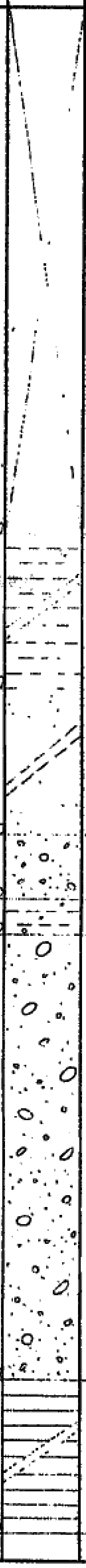
No. 7　神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その１、その２報告書
（ボーリング番号　No. 6）

No. 6　標高 KP+3.48（基準面）

調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目　自然孔内水位 GL-2.50m（　月　日測定）

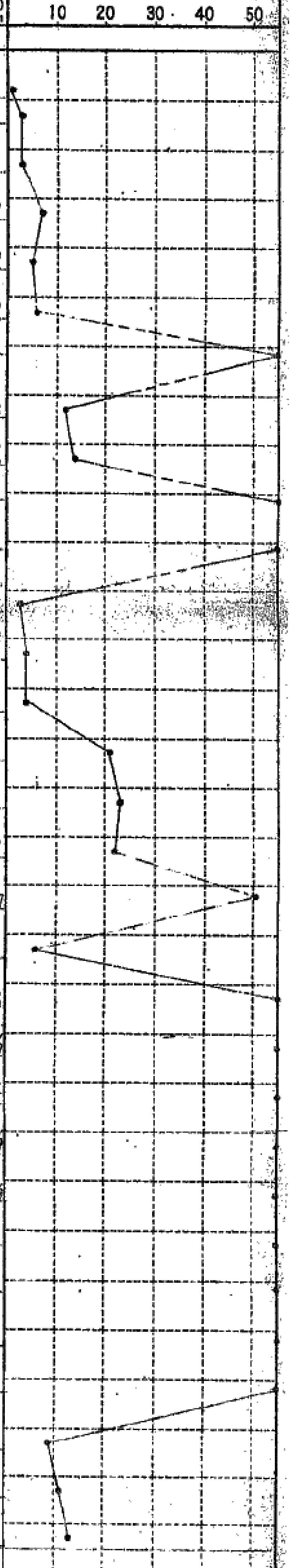
調査年月日 昭和54年10月27日～10月30日　調査員 柴 　 姫

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料 採取記号	試料 採取深度 m
0–10.50		10.50	10.50		埋土	茶褐	上部50cmはコンクリート砕石など。φ5～38mmの亜円礫を主とし、粗砂及び玉石が混入するマサ土。6.00m近辺玉石介在する。9.00m以下玉石集中している。					
10.50–13.60		13.60	3.10		砂混りシルト	暗青灰	貝殻片、腐植物が混入し、砂はレンズ状に挟在する。					
13.60–16.50		16.50	2.90		シルト混り砂	〃	細砂を主とし、シルトはブロック状に介在している。					
16.50–17.80		17.80	1.30		砂礫	〃	φ2～30mmの亜円礫を主とし、粗砂より成る。					
17.80–18.50		18.50	0.70		シルト	〃	粗砂、細礫を混る。					
18.50–27.40		27.40	8.90		砂礫	茶	φ2～30mmの亜円礫を主とし、粗砂より成り処々玉石介在する。少量の粘土含有する。					
27.40–30.50		30.50	3.10		砂混り粘土	青灰						



標準貫入試験

深度 m	N値 回/30cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
0	1			
1	3	1	1	1
2	3	1	1	1
3	7	3	2	2
4	5	2	1	2
5	6	2	2	2
6	60/0			
7	12	6	3	3
8	14	5	3	6
9	60/0			
10	60/0			
11	3	1	1	1
12	4	1	2	1
13	4	1	1	2
14	21	6	7	8
15	23	7	8	8
16	22	7	7	8
17	51	19	15	17
18	6	3	1	2
19	60	17	20	23
20	60/27	19	25	16/7
21	60/15	20	27	13/5
22	60/29	22	18	20/9
23	60/38	20	23	17/8
24	60/15	36	24/5	
25	60/12	51	9/2	
26	60/17	35	25/7	
27	60/15	37	23/5	
28	9	3	3	3
29	11	3	4	4
30	13	4	4	5



川崎地質株式会社

【別添資料3】地盤関係資料(3)-9

No. 8　神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その１、その２報告書
（ボーリング番号　No. 7）

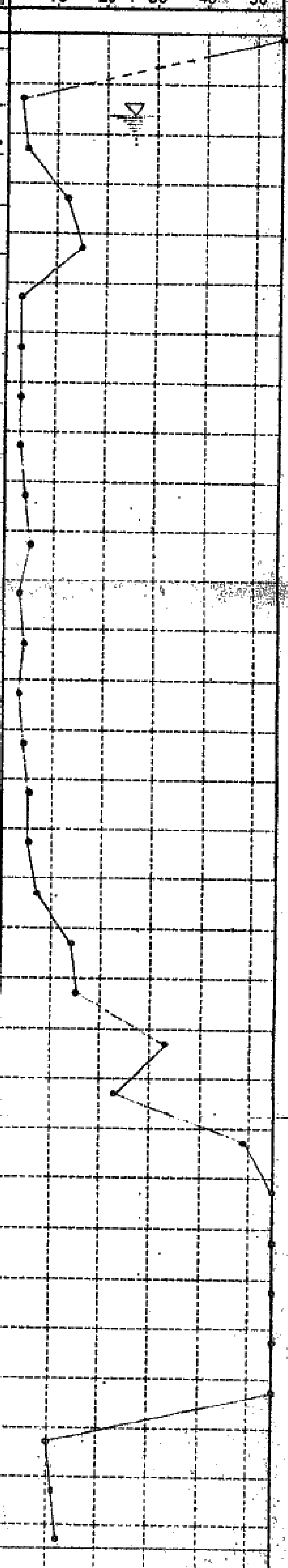
No. 7　標高 KP+2.46（基準面）
調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目　自然孔内水位 GL-1.60m（　月　日測定）
調査年月日 昭和54年10月1日～10月5日　調査員 三谷豊幸

(注) 1. T-1 シンウォールサンプラーによる採取
D-2 デニソンサンプラーによる採取
S-3 スプリットサンプラーによる採取
2. 試料採取深度と回収比 4.00 45/50 4.50　45/50は回収比

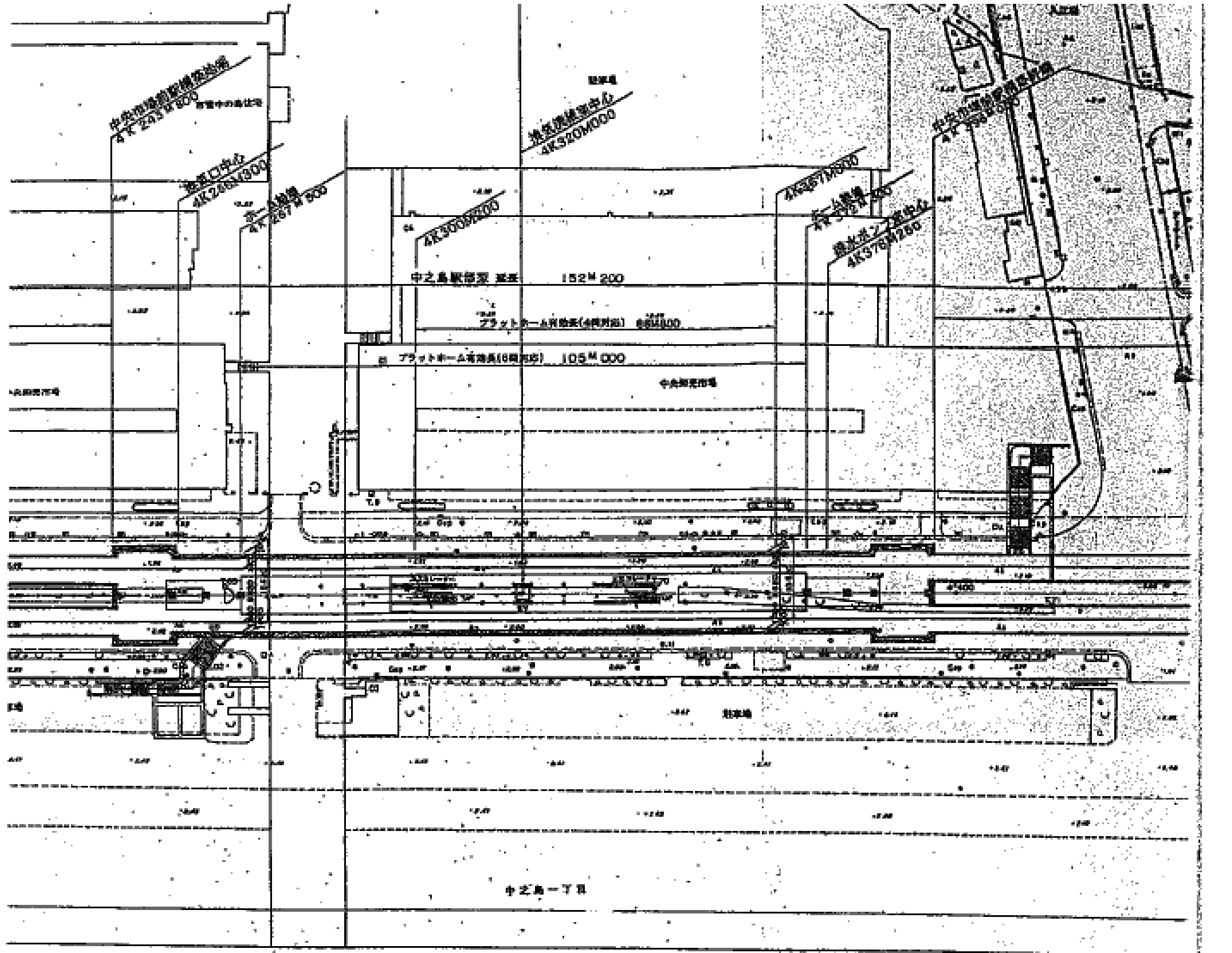
深度 m	層厚 m	地質名	色調	観察
1.20	1.20	埋土	暗褐	レンガ片、コンクリート塊石
2.50	1.30	礫混り砂	黄褐	マサ土による一次盛土
4.50	2.00	砂礫	茶	φ2～20mmの円レキを主とし粗砂より成る。
14.00	9.50	シルト	暗青灰	有機物・植物及び貝殻片混入する 10m付近・植物が多い 処々砂をレンズ状に挟んでいる
17.50	3.00	シルト混り砂	青灰	中～粗砂を主とし細砂、有機物混る。 シルトは処々集中している・植物が混る。
19.00	1.50	礫混り砂	暗灰	中～粗砂を主とし細レキ混る
19.60	0.60	砂混りシルト	黒褐	腐植物混る。
20.70	1.10	礫混り砂	青灰	中～粗砂を主とし細レキ混る
21.30	0.60	砂混り粘土	暗灰	細レキ点在する
22.50	1.20	砂礫	青灰	φ2～20mmの亜円レキと粗砂より成る。
27.80	5.30	砂礫	青灰	φ2～50mmの亜円レキを主とし、含水多大で崩れ易い。
30.50	2.70	砂混り粘土	青灰	貝殻片混入し、砂はレンズ状に挟む。

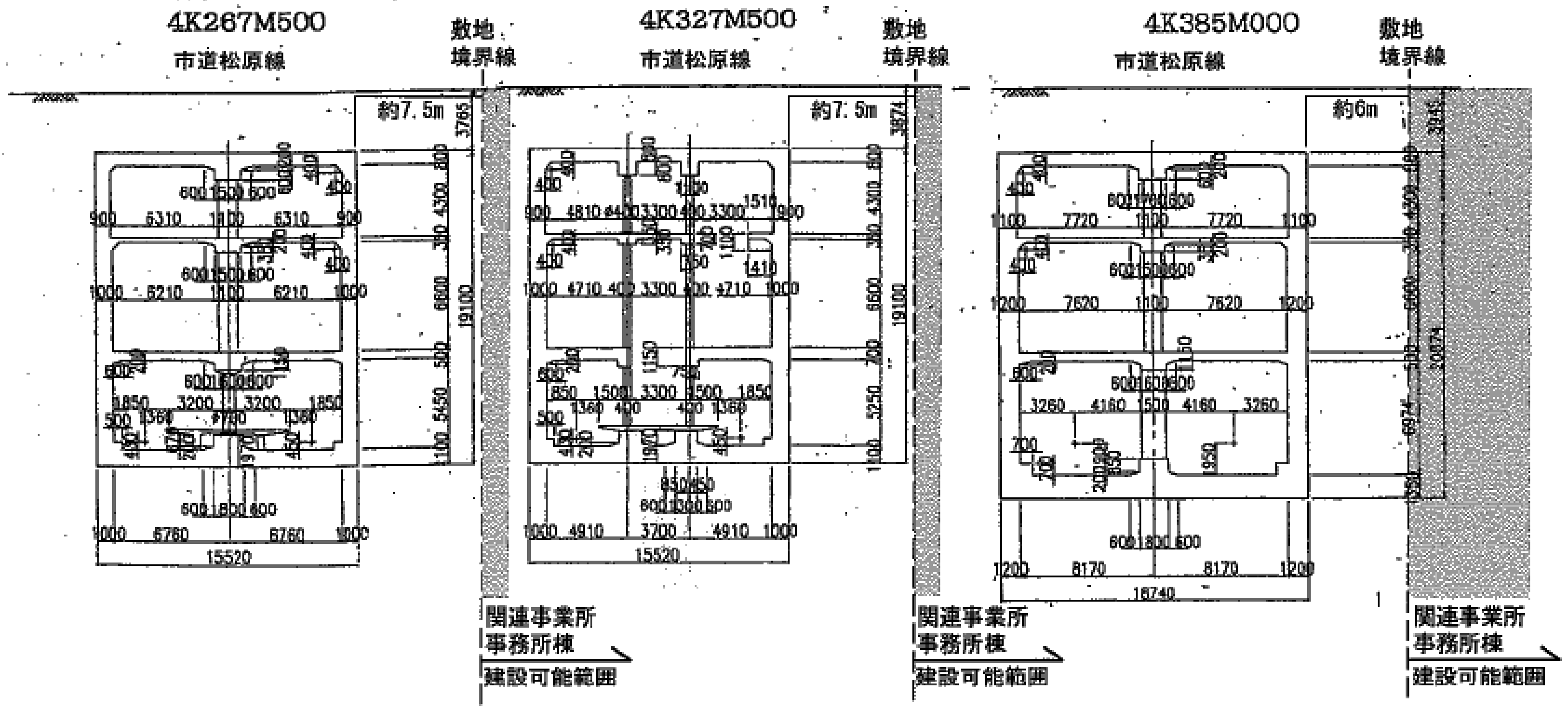
標準貫入試験

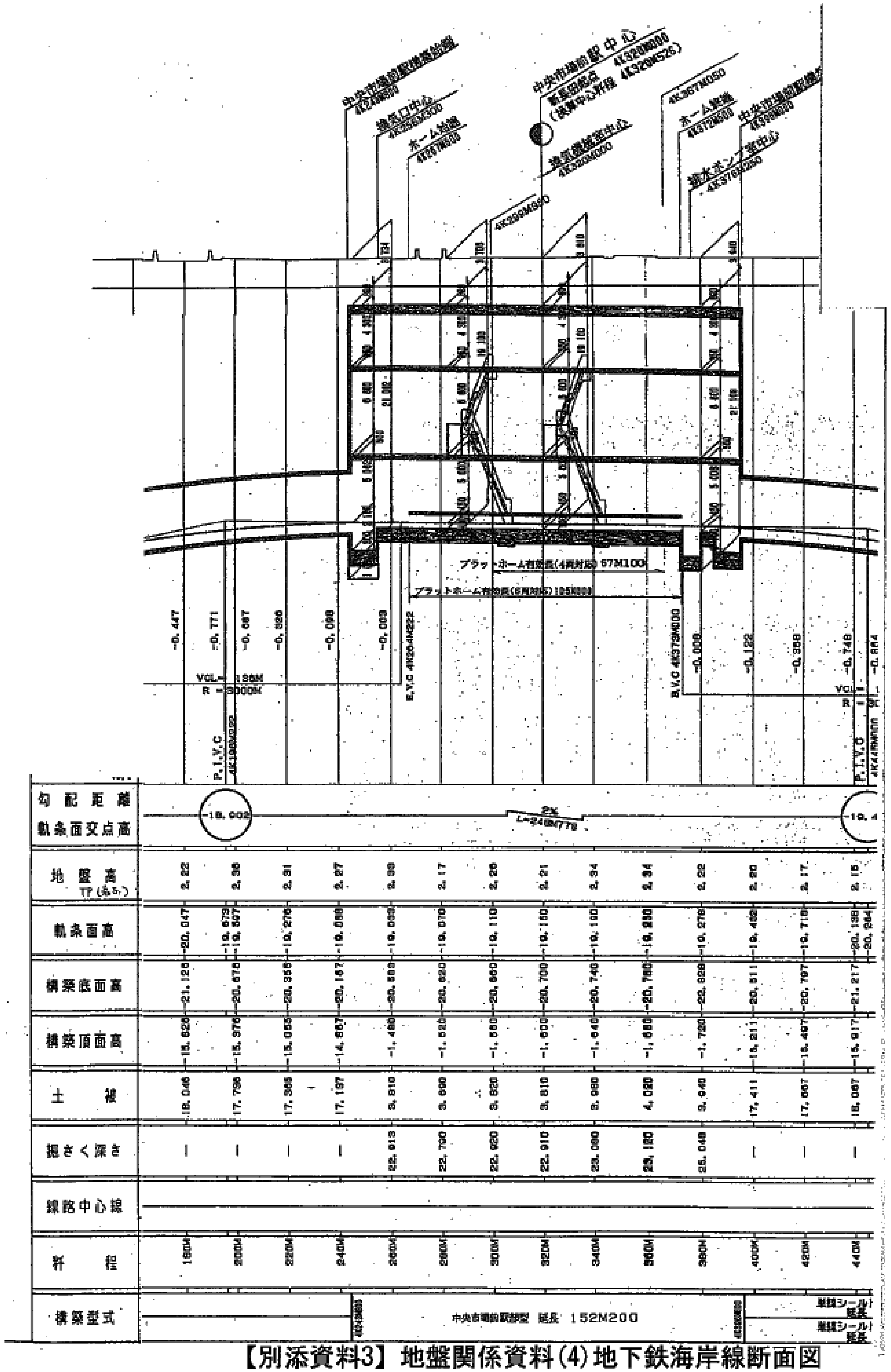
深度 m	N値 回/30cm	10cm	20cm	30cm
0	60/15	3	57	
1	3	1	1	1
2	4	1	1	2
3	12	3	5	4
4	15	2	5	8
5	3	1	1	1
6	3	1	1	1
7	3	1	1	1
8	3	1	1	1
9	4	1	1	2
10	5	1	2	2
11	3	1	1	1
12	4	1	1	2
13	3	1	1	1
14	4	1	1	2
15	5	1	2	2
16	5	1	2	2
17	7	2	2	3
18	14	3	5	6
19	15	4	6	5
20	33	9	11	13
21	23	4	8	11
22	49	12	21	16
23	60	16	24	20
24	60/28	18	21	21/8
25	60/26	19	19	22/6
26	60/26	16	21	23/6
27	60/25	17	22	21/5
28	10	3	3	4
29	11	3	4	4
30	12	4	4	4



川崎地質株式会社

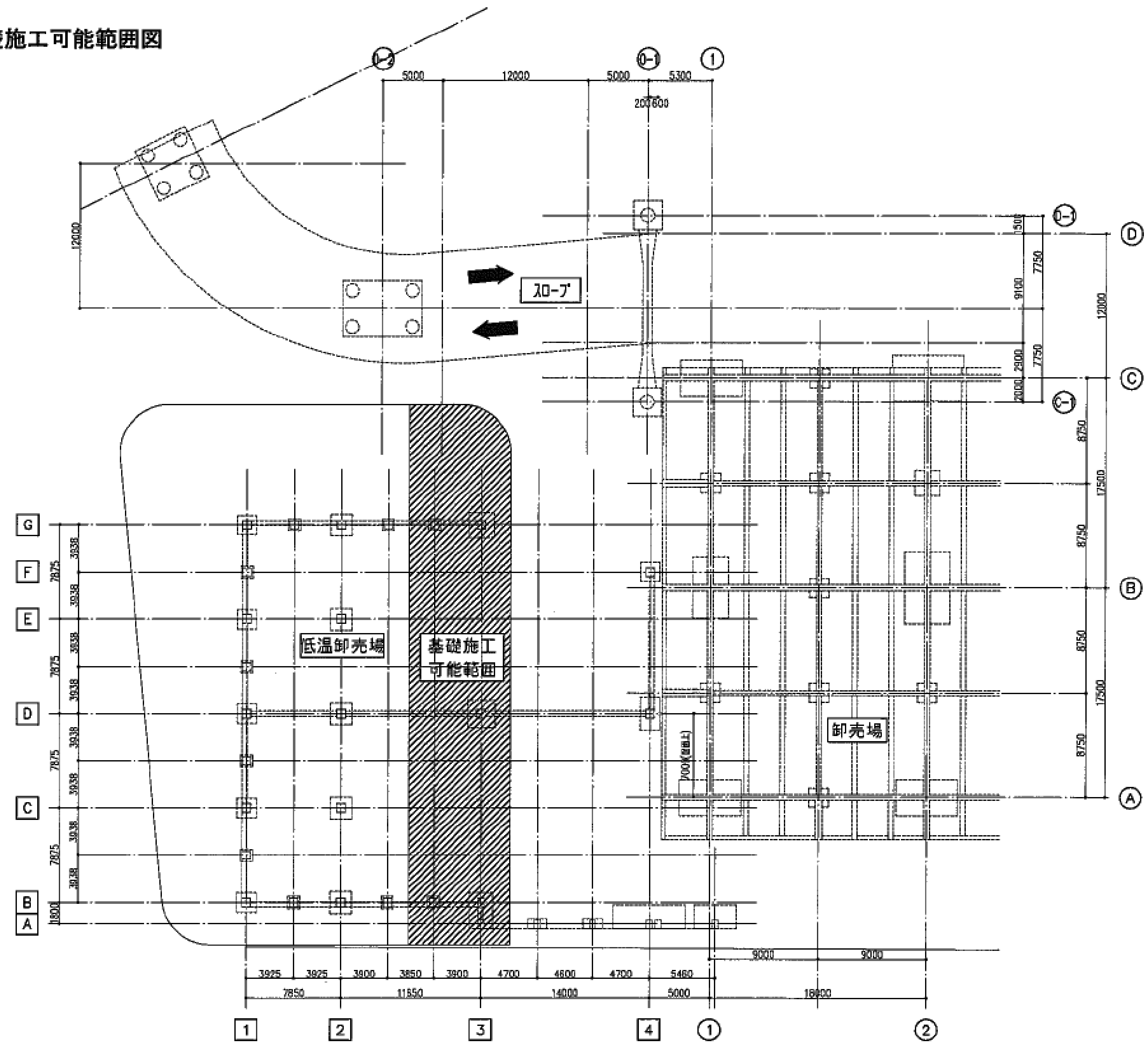


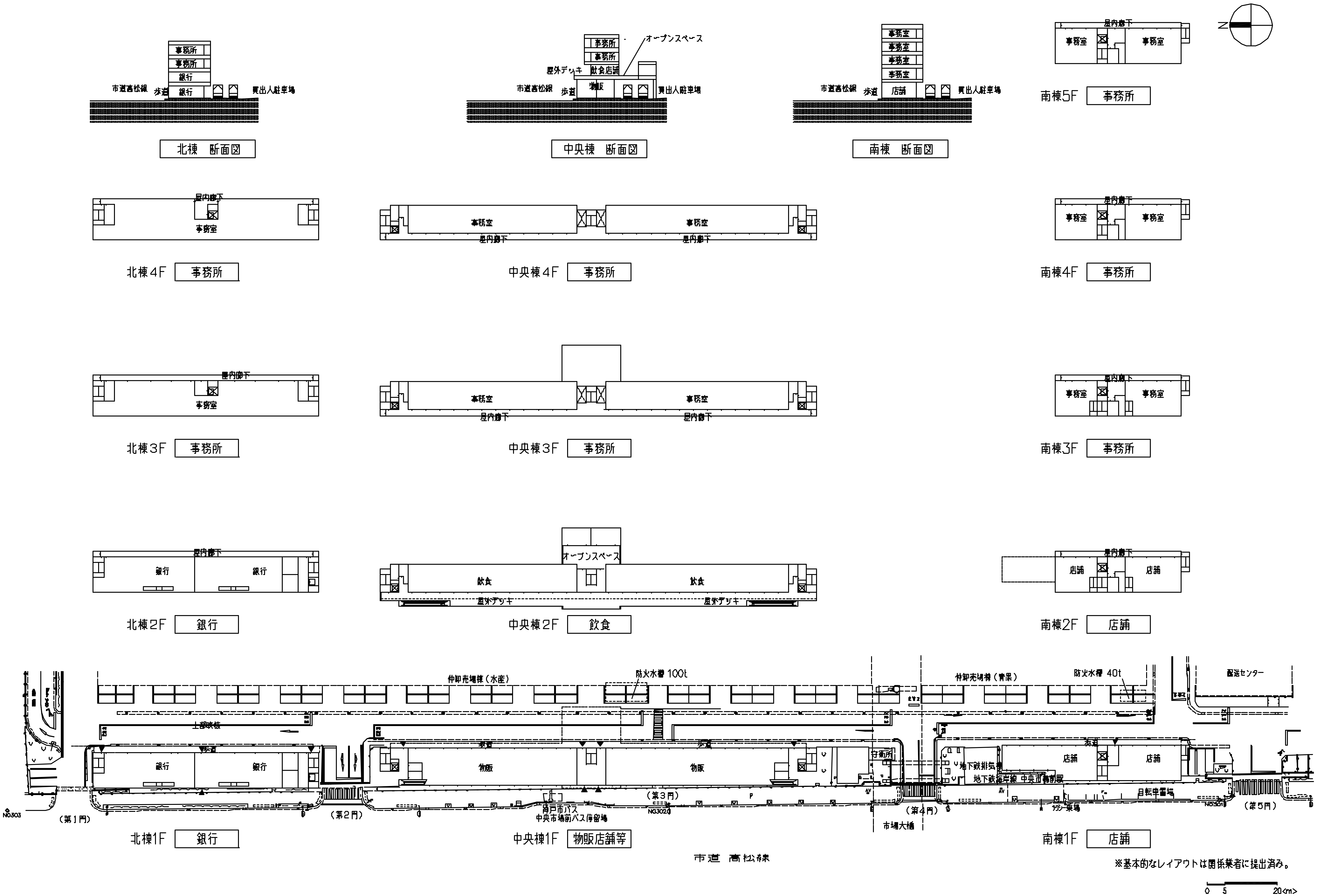




【別添資料3】地盤関係資料(4)地下鉄海岸線断面図

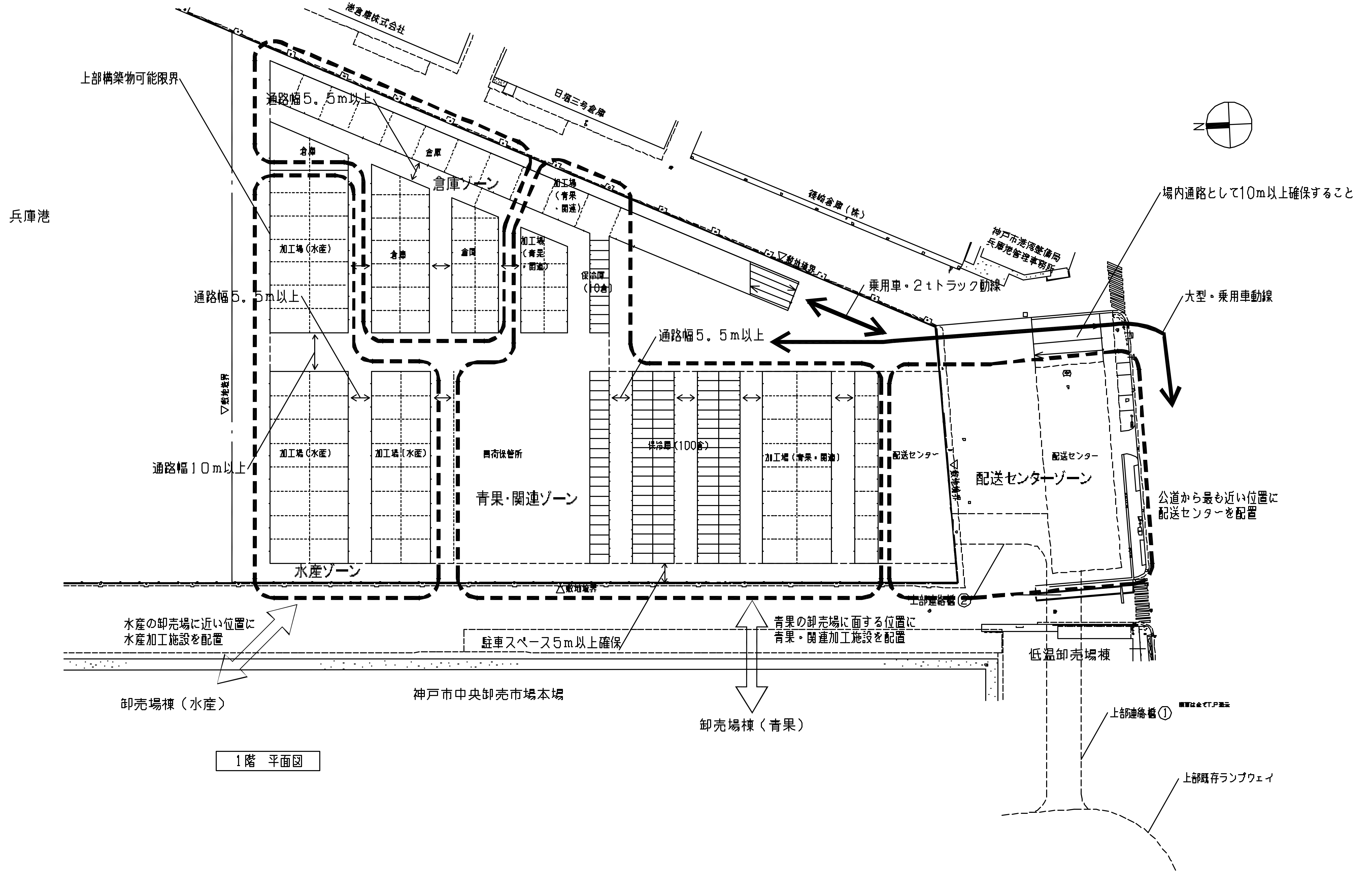
ランプウェイ基礎施工可能範囲図
(南端低温倉庫棟)





※基本的なレイアウトは関係業者に提出済み。

【別添資料4】　関連事業所・事務所棟　平面図（参考図）



※２階以上は駐車場とする。台数は約１１００台確保すること。
※階段・ＥＶは提案による。
※特記なき限り通路幅は５．５ｍ以上とする。

【別添資料４】　埋立地棟　平面図（参考図）

No.

消防設備一覧表

建物名称： 神戸市中央卸売市場加工場(埋立地棟)　工事場所： 神戸市兵庫区中島1丁目、2丁目　敷地面積：　㎡　延床面積：　㎡

用　途： 作業場・倉庫・駐車場　構造： S造　階数： 地下　階　地上　2階　塔屋　階

防火対象物： 12項(イ)

階数	面積	用途	有窓無窓	消火設備						警報設備					避難設備		消防用水		消火活動上必要な施設			
				令10条	令11条	令12条	令13～18条	令19条	令20条	令21条	令21-2条	令22条	令23条	令24条	令25条	令26条	令27条	令28条	令28-2条	令29条	令29-2条	令29-3条
				消火器具	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧・泡・二酸化炭素・ハロゲン化物・粉末設備	屋外消火栓設備	動力消火ポンプ設備	自動火災報知設備	ガス漏れ火災警報設備	漏電火災警報器	消防機関に通報する火災報知設備	非常警報器具設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	無線通信補助設備
1		作業場・倉庫	有窓	○	○			*		○						※標識						
2		駐車場	有窓	○	○		○泡	*		○						○						
屋上		駐車場	有窓				○移動式													○		

備考

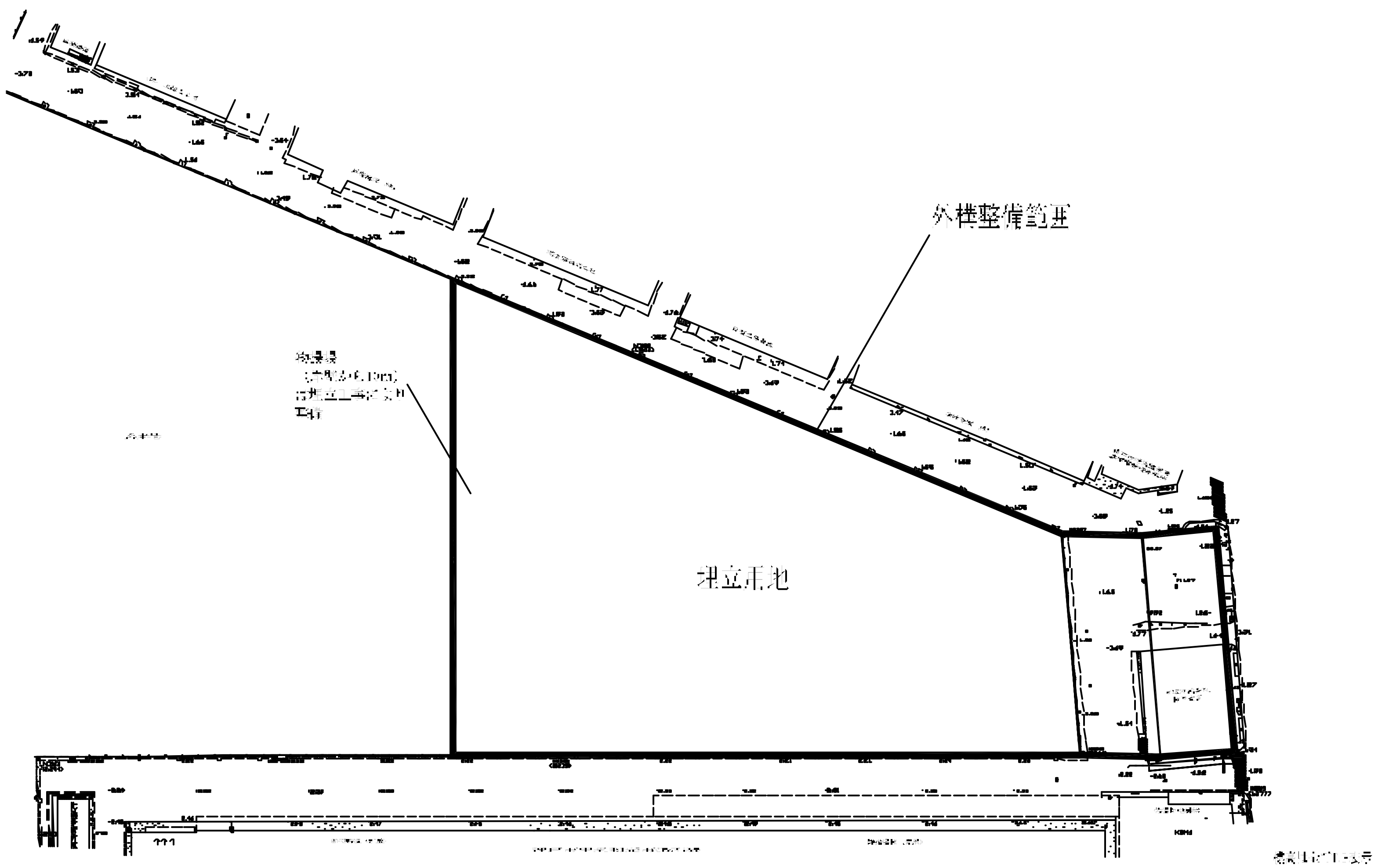
＊屋外消火栓は屋内消火栓にて代替（査察課による指導）消火栓は易操作型1号消火栓

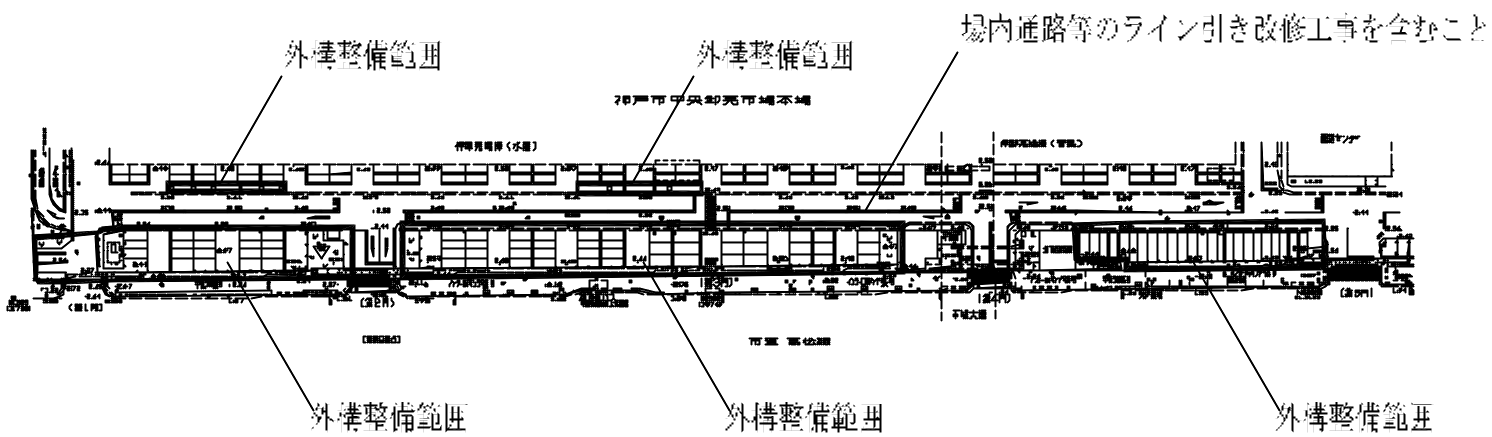
屋上駐車場には連結送水管を条例により設置

項判定は既設は15項なので検討する

防火水槽の設置は包含円で判定する

1階は用途毎で有窓、無窓の判定としたい





【別添資料6】　外構範囲資料

【別添資料７ 】各エリアの要求水準 凡例

＜表記内容の説明＞

(a)一般事項

・階：表記の階に設置する。但し、室の機能上問題がなく、かつ、ゾーニングの中で関連する部屋の関係上問題が無ければ、変更は構わない。

・面積：表記の数値（但し、室・区画の機能上問題が無ければ、5%の面積増減までは可能とする。)

・室数：表記室数・区画数を確保する。

・天井高：表記数値は室内の平均天井高を(最低限度)を示し、上がり天井等の工夫により部分的に表記数値を下回っても良い。但し、必要設備・備品の配置を妨げない計画とする。

・床荷重：表記数値は単位面積当たりの一般的な数値である。

・自然採光：外部に面して配置することが望ましい室を意味する。

・換気：換気方法について示す。個別は単独個別換気を示し、中央は空調兼用もしくは複数室と換気装置の共用が可能である。

・空調：空調条件について示す。特殊は一般空調以外の空調条件が必要な事を示す。別施は空調機が別途施設利用者工事であることを示す。空調の設定については（ｋ）室内環境の項目の中で示す。

(b)建築関係

各エリア(室・区画)の用途に応じた適切な仕上材を選定すること。各記号は基本的な仕上等の性能を表し、特にその機能が重視されるものを表記している。

・床：Ｆ１ (汚れにくく清掃等が容易であること)、Ｆ２　(配線の取出しが自由にできること)、Ｆ3(水拭きが可能であること)、Ｆ4(床を洗うなど水洗いが可能であること)

・壁：W１(汚れにくく清掃等が容易であること)、W２　(吸音性能を有すること)

・天井：C１(汚れにくく清掃等が容易であること)、C２　(吸音性能を有すること)

・室の出入口：D１(片開き W900 ×H2,100)、D２(親子開き W1,200 ×H2,100)、D4(シャッター)、D5(自動扉 W1,800 ×H2,100)、D6(片開き W1,500 ×H2,500)、D７（スクリーン　扉付き）

・防水：防水の要否を示す。

(c)電源設備

・照明用、ｺﾝｾﾝﾄ用電源は表記の容量を確保するとともに、コンセントは適切な間隔で壁または床に設置すること。

括弧内は、コンセント設置場所を示す。

(d)照明設備

・室内照度は、表記数値の範囲内を目安とし、室の用途に応じて照明方法等適切な計画とすること。

(ｅ)電話・情報設備

・先行統合情報配線システムとは、電話にも情報にも対応できる先行して配線できるシステムとする。

・Ｉ １ ：電力・情報ﾍﾟｱｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ(ｽｲｯﾁﾝｸﾞﾊﾌﾞ付)による対応、Ｉ ２ ：情報ｺﾝｾﾝﾄ(電話・LAN)

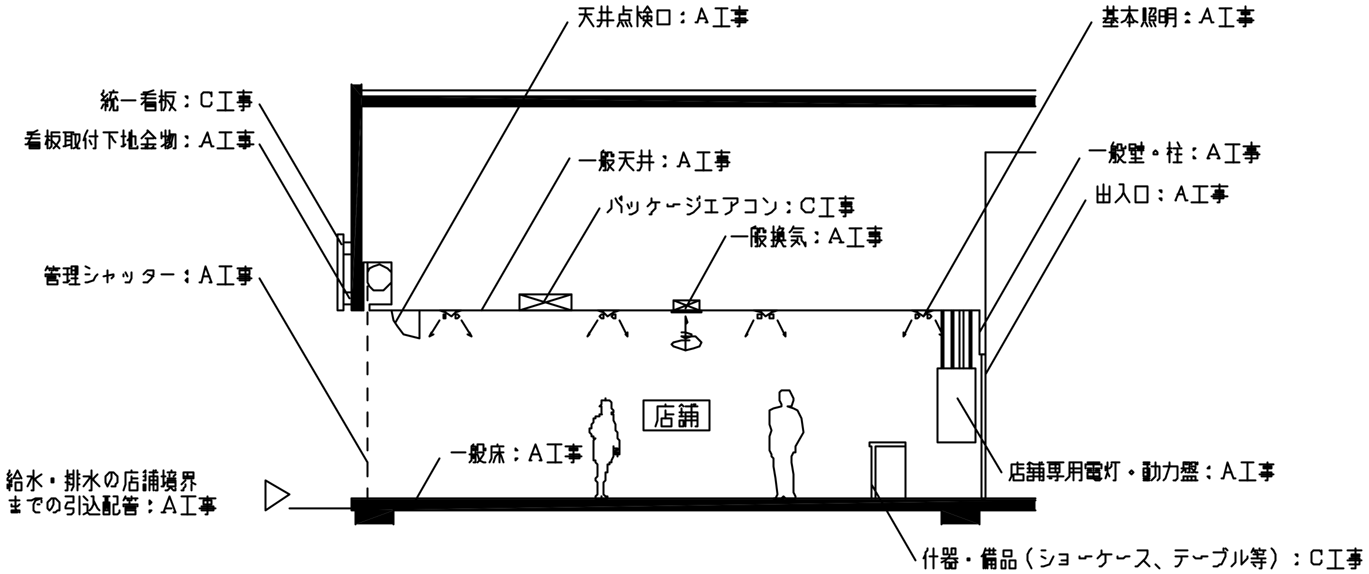
による対応、Ｉ３：情報ｺﾝｾﾝﾄ(電話)による対応、Ｉ４：情報ｺﾝｾﾝﾄ(LAN)による対応、
Ｉ５：マルチメディア用による対応、Ｉ６：インターホン対応(括弧内の室と通話)、
・電話は、内線・外線共とする。
・情報管理室については、大容量のデータを扱うため、光ファイバーの接続端子を設置する。
(f)TV 共同受信設備
・TV 接続端子を設置する。括弧内は、箇所数を示す。
(g)入退室
・Ｋ０：特に出入口扉を設けず、オープンな入退室が可能なようにする。
・Ｋ１：出入口は電気錠とし、ＩＤ カード(カードリーダ）方式とし、個別管理しているエリアを示す。
・Ｋ２：一般的な締り金物(建具取付)とし、鍵方式とする。

(h)監視カメラ設備
・Ｍ０(カメラモニターの設置は既設守衛室とする)、Ｍ１(カメラの設置)。括弧内は台数を示す。
(ｉ)給排水衛生設備
各記号に示す衛生陶器類及び給排水配管設備を含むものとする。（括弧内は個数を示す）
・要Ｓ１(洗面手洗器)、要Ｓ２(吊戸棚付流し台：L=1,500 、ステンレス製)、要Ｓ３(水栓柱)、要1 次(１次配管のみ、給水：天井内バルブ止め、排水：床下区画内プラグ止め)、要（各器具への配管接続）
・ガス設備：要（各器具への配管接続）、要 1 次（1 次配管のみ：天井内プラグ止め）
・給湯設備：要不要を示す。但し、局所給湯
(j)特殊設備
・冷蔵（冷蔵設備)、厨房（厨房器具）
(k)室内環境
・Ｅ１：一般的な快適温度（夏期：乾球温度２６ ℃、冬季：乾球温度２２ ℃）および一般的な快適湿度（夏期：相対湿度６０ %、冬季：相対湿度４０ %）
・Ｅ２：食品の保存環境に適した温度（乾球温度 10 ℃程度）
・Ｅ３：２４ 時間空調を行う。
・別施：　別途施設利用者工事を示す。

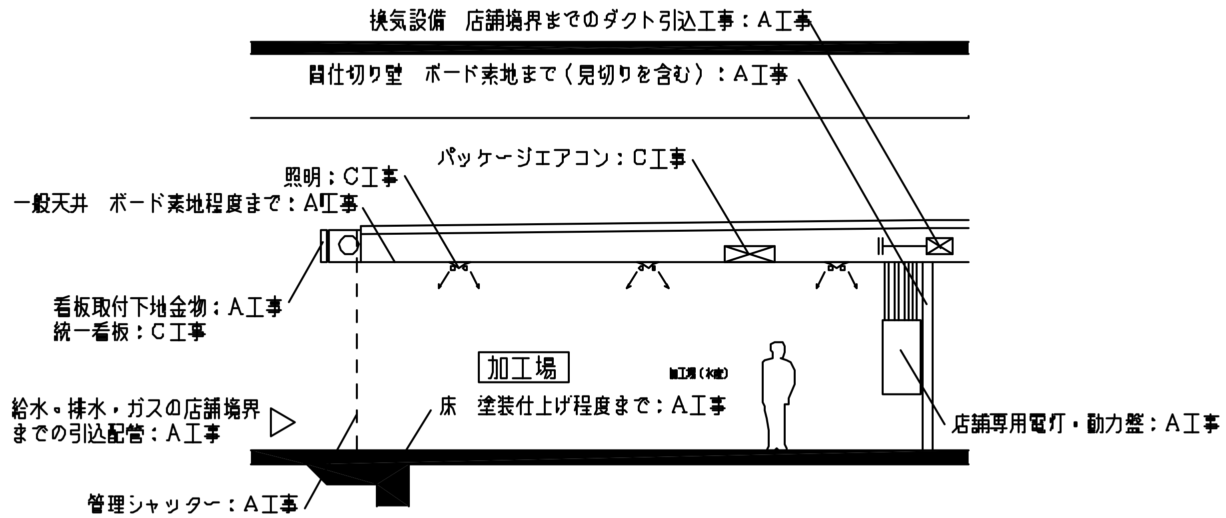
【別添資料7】 各エリアの要求水準

	エリア（室名）	ⓐ一般事項 階	ⓐ一般事項 面積 m²	ⓐ一般事項 室数・区画数 室・区画	ⓐ一般事項 天井高 m	ⓐ一般事項 床荷重 kg/m²	ⓑ建築関係 自然採光	ⓑ建築関係 換気	ⓑ建築関係 空調	ⓑ建築関係 床仕上	ⓑ建築関係 壁仕上	ⓑ建築関係 天井仕上	ⓑ建築関係 室の出入口	ⓑ建築関係 防水	ⓒ電源設備 照明用・コンセント用 VA/m²	ⓒ電源設備 動力用単相・三相 VA/m²	ⓓ照明設備 室内照度 ルクス	ⓔ電話情報設備 統合情報配線システム	ⓕTV 接続端子	ⓖ入退室 出入口の施錠方式	ⓗ監視設備 監視カメラ	ⓘ給排水衛生設備 生活用給排水	ⓘ給排水衛生設備 ガス設備	ⓘ給排水衛生設備 給湯設備	ⓙ特殊設備 特殊設備	ⓚ室内環境 室内の温湿度環境
関連事業所・事務所棟	物品販売店舗等	中央棟1階 :20m²程度×52区画程度 南棟1階 :200m²程度×2区画 南棟2階 :140m²×2区画			3.0以上	400	―	個別	別施	F1	W1	C1	D4		60	95	300	I2	要（1）	K2	―	要1次	別施	別施	-	別施
	（市場PR施設）フードスタジオ	中央棟2	適宜	1	3.0以上		要	個別	一般	別施	別施	別施	別施	別施	300	95	500	I2	要（1）	K2	―	要	要	要	厨房	E1
	（市場PR施設）事務室	中央棟2	適宜	1	2.5以上		要	個別	一般	別施	別施	別施	別施	別施	80	95	500	I2	要（1）	K2	―	要S2	-	-	-	E1
	（市場PR施設）オープンスペース	中央棟2	適宜	1	3.0以上		要	個別	一般	別施	別施	別施	別施	別施	300	95	500	I2	要（1）	K2	―	-	-	-	-	E1
	飲食店舗	中央棟2	30	27	2.5以上	400	―	個別	別施	F1	W1	C1	D4 D7	要	70	140	300	I2	要（1）	K2	―	要1次	要1次	別施	-	別施
	銀行	北棟1、2	400	2 （上下で同一店舗とする）	3.0以上	300 （特殊）	―	個別	別施	別施	別施	別施	別施		80	95	500		要（1）	K1	―	要1次	要1次	別施	-	別施
	事務所	2、3、4、 一部 5	30～50	75	2.5以上	300	要	個別	一般	F1 F2	W1	C1	D2		80	95	500	I2	要（1）	K1	―	要S2	-	要	-	E1
	市事務所	中央棟4	500	―	2.5以上	300	要	個別	一般	F1 F2	W1	C1	D2		80	95	500	I2,I6	要（1）	K1	-	要S2	-	要	-	E1
	電気室	適宜	適宜	適宜	直天		―	適宜	適宜	F1 F3	W2	C2	適宜		適宜	適宜	200	I6	―	K2	―	-	-	-	-	-
	機械室	適宜	適宜	適宜	直天		―	適宜	適宜	F1 F3	W2	C2	適宜		適宜	適宜	200	I6	―	K2	―	要S1	-	-	-	-
	廊下	各階	適宜	適宜	2.5以上	300	―	-	-	F1	W1	C1	適宜		適宜	―	100	―	―	K0	―	-	-	-	-	-
	階段	各階	適宜	適宜	―	300	―	-	-	F1	W1	C1	適宜		適宜	―	100	―	―	K0	―	-	-	-	-	-
	便所	各階	適宜	適宜	2.4以上	180	―	個別	-	F1 F4	W1	C1	適宜		適宜	―	150	―	―	K0	―	要	-	-	-	-
	ゴミ置場	適宜	適宜	適宜	直天	一部 550 （車道） 180	―	個別	-	F1 F3 F4	W1	C1	適宜		適宜	―	30	―	―	K2	―	要S3	-	-	-	-
埋立地棟・配送セ	水産加工場	1	全体で2600m²程度 区画間口は6m程度		3.0以上	1200	―	中央	別施	F1 F4	W1	C1	D4	要	95	80	500	I2	―	K2	―	要1次	要1次	別施	-	別施
	青果・関連加工場	1	全体で1700m²程度 区画間口は6m程度		3.0以上	1200	―	中央	別施	F1 F4	W1	C1	D4		95	65	500	I2	―	K2	―	要1次	要1次	別施	-	別施
	買荷保管所	1	全体で1800m²程度		5.3以上	1200	―	中央	―	F1 F4	W1	C1	―		20	30	100	I2	―	K2	―	-	-	-	-	-
	保冷庫	1	13m²程度	110倉	2.8以上	550	―		特殊	F1 F4	W1	C1	D6		90	300	200	I2	―	K2	―	-	-	-	冷蔵	E2 E3

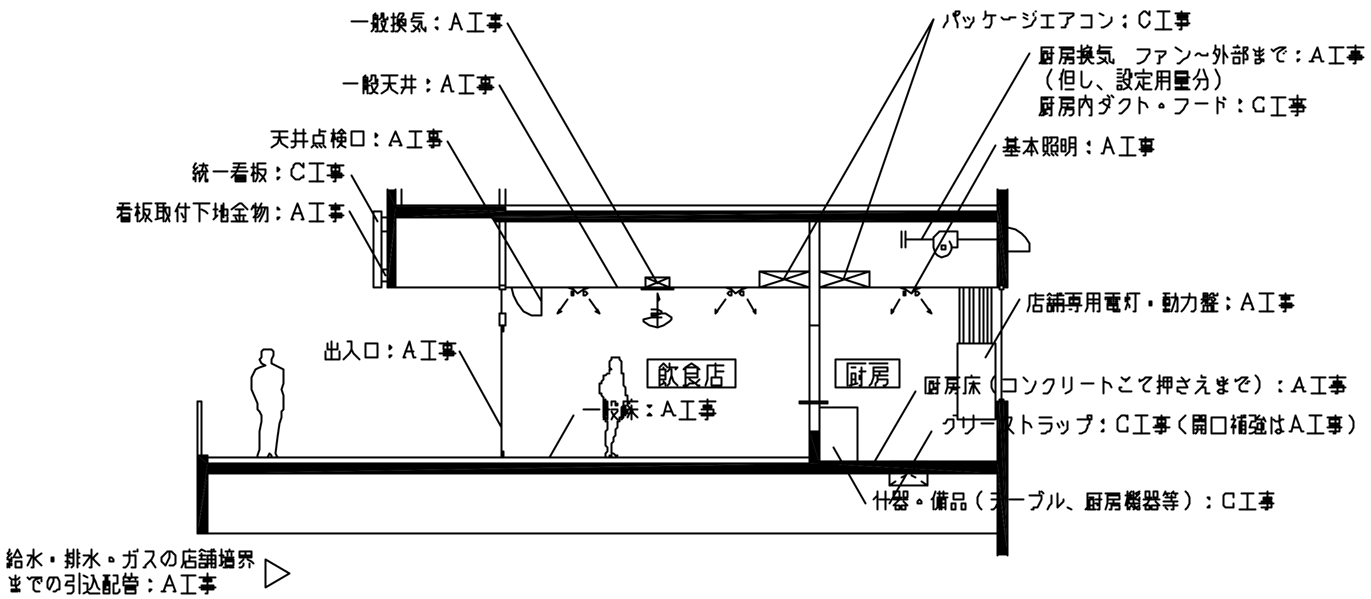
	ⓐ									ⓑ					ⓒ		ⓓ	ⓔ	ⓕ	ⓖ	ⓗ	ⓘ			ⓙ	ⓚ
	一般事項									建築関係					電源設備		照明設備	電話情報設備	TV	入退室	監視設備	給排水衛生設備			特殊設備	室内環境
			面積	室数・区画数	天井高	床荷重									照明用・コンセント用	動力用単相・三相	室内照度	統合情報配線システム	接続端子	出入口の施錠方式	監視カメラ	生活用給排水	ガス設備	給湯設備	特殊設備	室内の温湿度環境
	エリア（室名）	階	㎡	室・区画	m	kg／㎡	自然採光	換気	空調	床仕上	壁仕上	天井仕上	室の出入口	防水	VA/㎡	VA/㎡	ルクス									
ンター棟	倉庫	1	全体で1900㎡程度 区画間口は6m程度		4.0以上	550	―	中央	―	F1 F4	W1	C1	D4		15	10	100	I2	―	K2	―	-	-	-	-	-
	配送センター	1	埋立地棟1階に900㎡程度 配送センター棟1階に1000		5.3以上	1200	―	中央	―	F1 F4	―		―		10	―	100		―	K0	M1	-	-	-	-	-
	駐車場	2以上	1100台程度	―	2.3以上	550	―	中央	―	F1	―		―		5	―	50	―	―	K0	M1	-	-	-	-	-
	電気室	適宜	適宜	適宜	直天		―	適宜	適宜	F1 F3	W2	C2	適宜		適宜	適宜	200	I6	―	K2	―	-	-	-	-	-
	機械室	適宜	適宜	適宜	直天		―	適宜	適宜	F1 F3	W2	C2	適宜		適宜	適宜	200	I6	―	K2	―	要S1	-	-	-	-
	通路						―	―	―						適宜	―	100	―	―	―	M1	-	-	-	-	-
	階段	各階	適宜	適宜	―	300	―	―	―	F1	W1	C1	適宜		適宜	―	100	―	―	K0	―	-	-	-	-	-
	便所	各階	適宜	適宜	2.4以上	180	―	個別	―	F1 F4	W1	C1	適宜		適宜	―	150	―	―	K0	―	要	-	-	-	-
	ゴミ置場	適宜	適宜	適宜	直天		―	個別	―	F1 F3 F4	W1	C1	適宜		適宜	―	30	―	―	K2	―	要Ｓ3	-	-	-	-



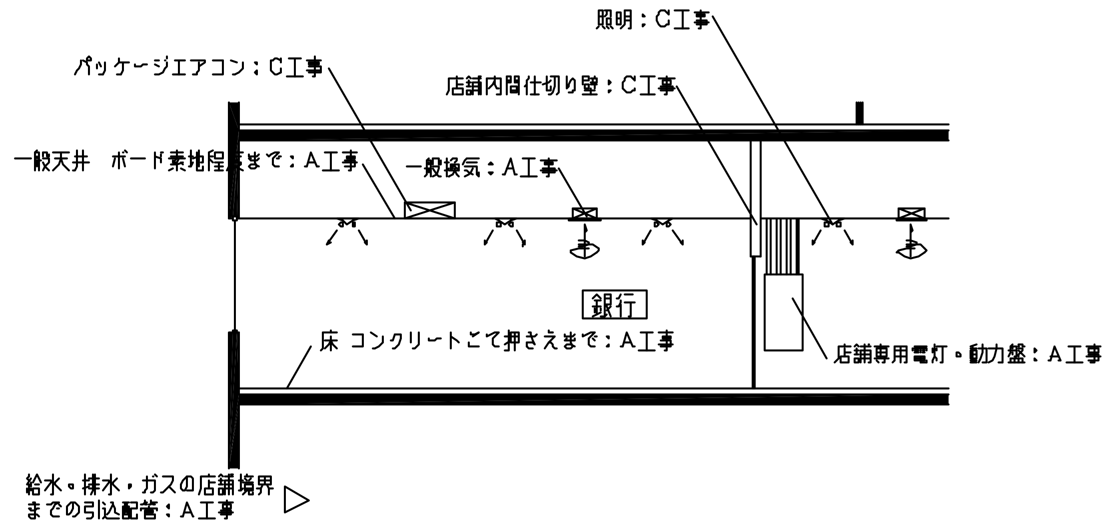
物販店舗　標準仕様概念図



加工場　標準仕様概念図



飲食店　標準仕様概念図



スケルトン渡し店舗　標準仕様概念図

※A・C工事区分及び仕様については内装工事施工区分表を参照すること。
※消防設備及び法律上必要なものはA工事範囲とする。
※事務所エリアは全てA工事とする。
※防犯設備は全て別途工事（市施工）とする。

【別添資料８】　内装工事施工区分概念図

■内装工事施工区分（関連事業所・事務所棟）

工事区分		A工事	C工事	内装工事施工対象				
費用負担者		事業者	関連事業者	○：工事対象（A・C工事）				
設計者		事業者	事業者 ※（1）					
施工者		事業者	事業者 ※（1）					
施工項目		一般店舗のA工事施工範囲	一般店舗のC工事施工範囲	飲食	食品販売	物販	サービス	事務所
建築工事	一般天井	あり（C工事で取り付ける棚・家具の下地・補強を含む）	なし	○	○	○	○	○
	厨房天井	あり（C工事で取り付ける棚・家具の下地・補強を含む）	なし	○	-	-	-	-
	一般壁・柱	あり（C工事で取り付ける棚・家具の下地・補強を含む）	下がり壁・棚柱・棚板等の製作・取付	○	○	○	○	○
	店舗間仕切壁	-	-	○	○	○	○	○
	厨房区画壁、柱	あり（C工事で取り付ける棚・家具の下地・補強を含む）	下がり壁・棚柱・棚板等の製作・取付	○	-	-	-	-
	一般床	あり（共用部との境界見切りを含む）	なし	○	○	○	○	○
	厨房床	コンクリートこて押さえまで	なし	○	-	-	-	-
	防水、立上げ、側溝（厨房等）	立上げ、防水、シンダーコンクリート、側溝、側溝蓋	なし	○	-	-	-	-
	出入口戸	開き戸	その他全工事	○	○	-	○	○
	カウンター	なし	全工事	○	-	-	-	-
	管理シャッター	必要店舗、共用通路等のシャッター設置	なし	○	○	○	○	-
	統一看板（個店用看板）	看板のベースプレート取付け	看板本体の製作取付け	○	○	○	○	○
	壁・床・天井の点検口	管理上必要な点検口の設置	なし	○	○	○	○	○
	什器・備品（ショーケース、テーブル等）	なし	全工事	○	○	○	○	○
電気設備工事	店舗専用電灯・動力盤	全工事（電力量計含む）	なし	○	○	○	○	○
	店舗動力	なし	電気器具設置	○	○	○	○	○
	店舗電灯コンセント	なし	なし	○	○	○	○	○
	基本照明	なし	なし	○	○	○	○	○
	演出・装飾・特殊照明	なし	分電盤から先の全工事	○	○	○	○	○
	電話設備	店舗境界までの配管・配線	端末機設置（申請手続きを含む）	○	○	○	○	○
	情報通信用配線（パソコン等）	店舗境界までの配管・配線	全工事	○	○	○	○	○
	テレビ共同受信	店舗境界までの配管・配線	受信機設置（申請手続きを含む）	○	○	○	○	○
	店舗内の業務放送	なし	全工事（カットリレーを含む）	○	○	○	○	○
	店舗内の有線放送	なし	全工事（カットリレーを含む）	○	○	○	○	○
	消防設備等（電気設備）	全工事	なし	○	○	○	○	○
機械設備工事	空調設備	なし	全工事	○	○	○	○	○
	店舗一般換気	全工事	なし	○	○	○	○	○
	厨房換気	ファン～外部までA工事（但し、設定容量分）	設定容量を超える設備及びA工事以外の全工事	○	-	-	-	-
	給水	店舗境界までの引込み配管工事	その他全工事	○	○	-	○	○
	排水	店舗境界までの引込み配管工事	その他全工事	○	○	-	○	○
	グリーストラップ	なし（開口及び開口補強のみ）	グリーストラップ持込、設置	○	-	-	-	-
	衛生機器	共同便所を設ける	なし	○	○	○	○	○
	ガス	飲食店舗境界までの引込み配管工事	その他全工事	○	○	-	○	-
	給湯	必要な店舗の全工事	なし	○	○	-	○	○
	厨房機器	なし	厨房器具持込、設置	○	-	-	-	-
	消防設備等（機械設備）	全工事	なし	○	○	○	○	○
その他	法律上必要なもの	全工事	なし	○	○	○	○	○

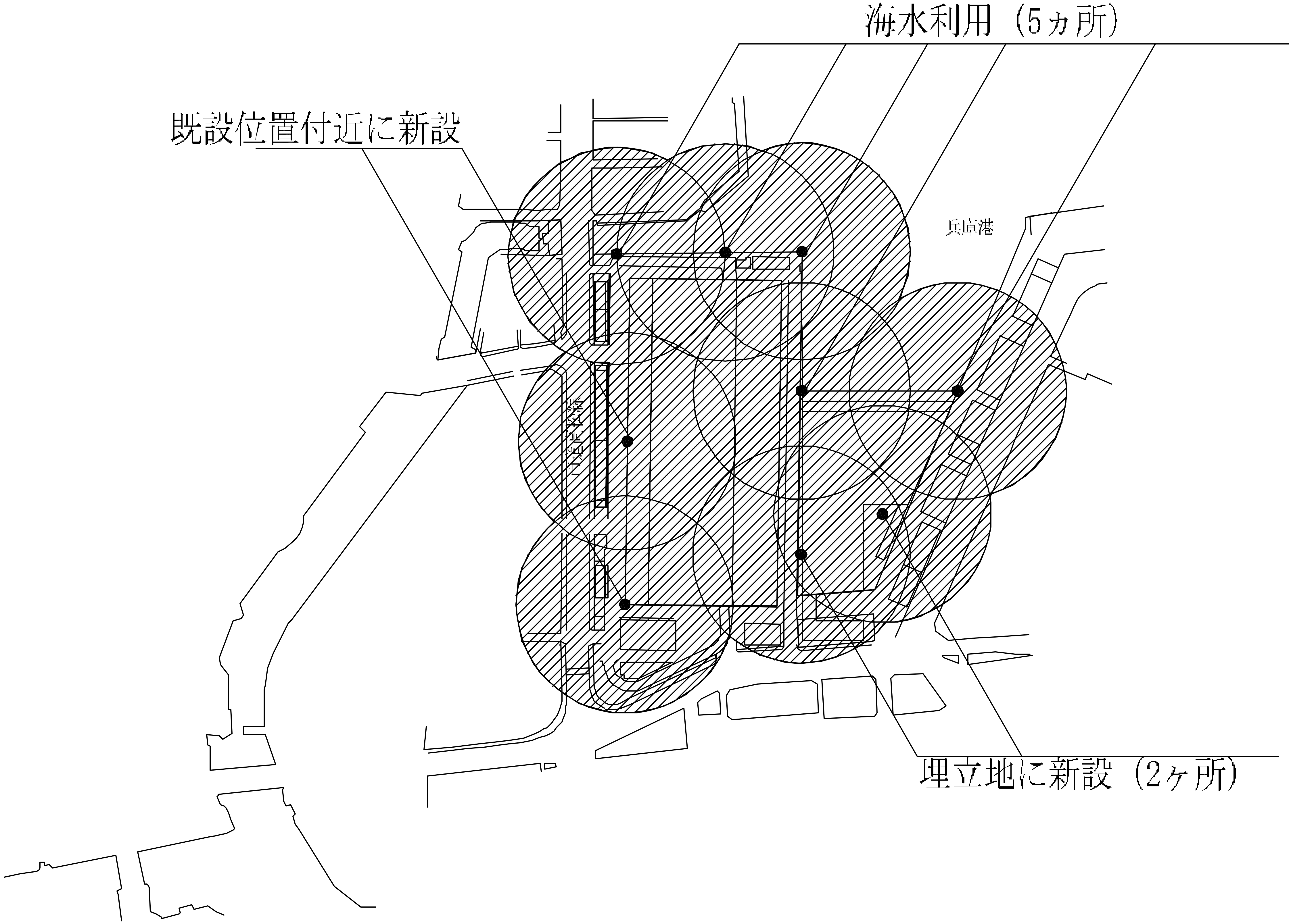
※一般店舗：銀行以外の店舗（飲食店舗、食品販売店舗、物販店舗、サービス店舗、事務所）。
※原則としてA工事以外の特殊な工事は、C工事とする。
※事業者の事務室等に関わる工事は、全てA工事とする。
※施設利用者部分事務所については全てA工事とする。
※（1）事業者が認めた場合は、出店者が選定した設計者及び施工者とすることができる。
※電気設備工事において、店舗境界までの配線については店舗用最遠部まで見込んでおくこと

■内装工事施工区分 銀行)

工事区分		A工事	C工事	
費用負担者		事業者	銀行	
設計者		事業者	銀行が定めた設計者	
施工者		事業者	銀行が定めた施工者	
施工項目		銀行のA工事施工範囲	銀行のC工事施工範囲	
建築工事	天井	ボード素地程度まで	全工事	
	外壁・コア等壁	ボード素地程度まで	その他全工事	
	間仕切壁 区画壁)	ボード素地まで 見切りを含む)	その他全工事	
	銀行内仕切り壁	なし	全工事	
	床	コンクリートこて押さえまで	その他全工事	
	点検口	床・壁・天井について管理上必要な点検口の設置	その他全工事	
	出入口戸	なし	全工事	
	管理シャッター	必要店舗、共用通路等のシャッター設置	なし	
	統一看板 個店用看板)	看板のベースプレート取付け	看板本体の製作取付け	
	その他建築工事	なし	全工事	
電気設備工事	電源	分電盤までの配線工事	分電盤から先の全工事	
	電話設備	店舗境界までの引き込み配管 配線工事	その他全工事	
	テレビ共同受信	なし	その他全工事	
	消防設備等 電気設備)	全工事	なし	
	その他の電気設備工事	なし	全工事	
機械設備工事	給水	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	
	排水	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	
	ガス	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	
	換気設備	全工事	なし	
	消防設備等 機械設備)	全工事	なし	
	その他の機械設備工事	なし	全工事	
	法律上必要なもの	全工事	なし	

■内装工事施工区分 埋立地棟 加工場)

工事区分		A工事	C工事	内装工事施工対象		
費用負担者		事業者	中卸業者	○ :工事対象 (A･C工事)		
設計者		事業者	中卸業者が定めた設計者			
施工者		事業者	中卸業者が定めた施工者			
施工項目		加工場のA工事施工範囲	加工場のC工事施工範囲	加工場 水産)	加工場	倉庫
建築工事	天井	ボード素地程度まで	その他全工事	○	○	○
	外壁・コア等壁	ボード素地程度まで	その他全工事	○	○	○
	店舗間仕切り壁	ボード素地まで 見切りを含む)	その他全工事	○	○	○
	店舗内仕切り壁	なし	全工事	○	○	○
	床	塗装等まで	その他全工事	○	○	○
	点検口	床・壁・天井について管理上必要な点検口の設置	その他全工事	○	○	○
	出入口戸	なし	全工事	○	○	○
	管理シャッター	加工場、共用通路等のシャッター設置	なし	○	○	○
	統一看板 個店用看板)	看板のベースプレート取付け	看板本体の製作取付け	○	○	○
	その他建築工事	なし	全工事	○	○	○
電気設備工事	電源	分電盤までの配線工事	分電盤から先の全工事	○	○	○
	電話設備	店舗境界までの引き込み配管 配線工事	その他全工事	○	○	-
	テレビ共同受信	店舗境界までの引き込み配管 配線工事	その他全工事	○	○	-
	消防設備等 電気設備)	全工事	なし	○	○	○
	その他の電気設備工事	なし	全工事	○	○	○
機械設備工事	給水	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	○	○	○
	排水	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	○	○	○
	ガス	店舗境界までの引き込み配管工事	その他全工事	○	-	-
	換気設備	店舗境界までの引込ダクト工事	その他全工事	○	○	○
	消防設備等 機械設備)	全工事	なし	○	○	○
	その他の機械設備工事	なし	全工事			
	法律上必要なもの	全工事	なし	○	○	○


海水利用（5ヵ所）
既設位置付近に新設
兵庫港
埋立地に新設（2ヶ所）

【別添資料 10】　実施設計完了時の提出図書類

建築（建築・構造）		電気設備（電気・昇降機）		機械設備（給排水・衛生・空調）	
①設計書類					
1	省エネルギー計算書（PAL.・CECの算定）				
2	防災計画協議書	2	照度計算書	2	給水量等の計算書
3	構造計算書	3	電圧降下計算書（幹線・動力・電灯・その他回路）	3	換気計算書
4	内訳書	4	負荷設備容量集計表	4	熱負荷計算書
5	見積書及び見積比較表	5	自家発電設備関係計算書	5	環境負荷低減システムの検討書
6	積算数量書及び数量算出書	6	直流電源設備容量決定計算書	6	システム決定の為のライフライン比較
7	官公庁協議・打合せ記録書	7	遮断容量、I 線地絡電流計算書	7	その他の機械設備設計計算書
8	外観パース　（市の指示による）	8	その他電気設備設計計算書	8	内訳書
9	内観パース　（市の指示による）	9	内訳書	9	見積書及び見積比較表
10		10	見積書及び見積比較表	10	積算数量書及び数量算出書
11		11	積算数量書及び数量算出書	11	官公庁協議・打合せ記録書
12		12	官公庁協議・打合せ記録書	12	
13		13		13	
②図面関係					
1	図面リスト	1	図面リスト	1	図面リスト
2	工事概要書	2	工事概要・特記仕様書	2	工事概要・特記仕様書
3	特記仕様書	3	配置図	3	配置図・会所リスト
4	外部仕上表	4	受変電設備単線結線図	4	衛生設備機器表・衛生機器表
5	内部仕上表	5	受変電設備ブロック図	5	衛生機器表
6	付近見取図	6	電気室機器配置図	6	衛生設備系統図
7	現況図	7	発電機設備配置図	7	衛生設備各階平面図
8	配置図	8	発電機設備　配管、ルート、仕様書	8	衛生設備平面詳細図
9	敷地求積図	9	直流電源装置・結線図・仕様他	9	消火設備系統図
10	建物求積図	10	幹線設備系統図	10	消火設備各階平面図
11	各階平面図	11	幹線リスト・配線リスト	11	空気調和設備機器表
12	各立面図	12	防災センター関連配置図	12	空気調和設備ダクト系統図
13	断面図	13	中央監視設備図	13	空気調和設備制気口リスト
14	矩計図	14	動力代表結線図	14	空気調和設備各階ダクト平面図
15	平面詳細図	15	動力制御盤リスト	15	空気調和設備機械室詳細図
16	展開図	16	電灯分殿盤リスト	16	空気調和設備熱源・配管系統図
17	天井伏図	17	幹線・動力設備各階平面図	17	空気調和設備各階配管平面図
18	床仕上伏図	18	コンセント・電灯設備各階平面図	18	換気設備平面図
19	建具配置図	19	非常照明・誘導灯設備各階平面図	19	自動制御設備図
20	建具リスト	20	照明器具姿図	20	排煙設備系統図
21	建具詳細図	21	照明他器具天井割付図	21	排煙設備各階平面図
22	各部詳細図	22	弱電設備系統図	22	その他必要図面
23	EV・エスカレーター図	23	弱電設備各階平面図	23	
24	サイン計画図･意匠図	24	弱電設備姿図	24	
25	家具詳細図	25	防災設備系統図・システム図	25	
26	雨水排水計画図	26	防災設備各階平面図	26	
27	外構図	27	避雷針設備関連図	27	
28	外構詳細図	28	駐車場管制設備関連図	28	
29	植栽計画図	29	屋外街灯他関連図	29	
30	構造特記仕様書	30	昇降機設備図	30	
31	基準図	31	その他必要図面	31	
32	土質柱状図	32		32	
33	各階伏図				

34	軸組図				
35	杭リスト				
36	基礎リスト				
37	梁リスト				
38	小梁リスト				
39	壁リスト				
40	スラブリスト				
41	継手リスト				
42	各部詳細図				
43	仮設計画図				
44	その他必要図面				

【別添資料 10】　工事着手時の提出図書類

図面及び図書名	サイズ	部数	備考
実施工程表及び総合施工計画書	A1,A3	3 部	仮設、関連工事も含み、受電、引込み検査等を記入する。
総合計画予定表（発注、工場製作、搬入、施工図	A4	3 部	
総合図、施工図作成工程表	A3	3 部	施行図は建築、電気、機械毎に分類のこと
請負契約書	A4	3 部	写し（現場）
同上内訳明細書	A4	3 部	写し（現場）
総合出来高予定表（請求額とその時期）	A4	3 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
着工前現況写真		1 部	
設計図書	A1	5 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
同上原図	A1	1 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
設計図書の縮小版	A3	5 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
同上原図	A3	1 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
官公庁申請届一覧表	A4	2 部	1 部は写し
工事施工計画及び下請人等通知書	A4	2 部	
現場代理人・主任技術者略歴書	A4	2 部	
産業廃棄物処理計画書	A4	2 部	
使用機器及び使用材料承認願	A4	2 部	
確認申請通知及び許可書	A4	1 部	
解体工事に要する費用等に関する書面	A4	2 部	
工事カルテ	A4	1 部	

【別添資料 10】　建設期間中の提出図書類

図面及び図書名	サイズ	部数	備考
工事日報	A3	2 部	
月間又は週間工程表	A3	2 部	
施工計画・同要領書	A3	2 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
施工図	A1	1 部	
機器制作図	A1 他	1 部	
試験検査記録簿	A4	2 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
打合せ記録簿	A4	1 部	
工事出来高調書	A4	2 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
設計変更等図面及び変更承認願	A1,A4	2 部	建築、電気、機械毎に分類のこと
使用機器及び使用材料承認願	A4	2 部	
損害保険写し（火災・建築）		2 部	

【別添資料 10】　竣工に伴う提出図書類

提出書類等	サイズ及び形状	部数		
竣工図	二つ折り製本（A2）	2		
	同上金文字製本（A2）	1		
	同上第 2 原図	1		
	二つ折り製本(A3 縮小)	2		
	同上第 2 原図	1		
	CAD データ	1		
施工図	二つ折り製本(A2)	1		
	二つ折り製本(A3 縮小)	1		
	CAD データ	1		
工事中写真	写真	1		
	デジタルデータ	1		
竣工写真（建築写真専門家による）	アルバム(A4)	2		
	台紙貼り(A4)	1		
	カラースライド	1		
	CD-ROM データ	1		
竣工引渡書類一覧	A4	2		
取扱説明書	A4	1		
工事中の試験記録、性能表		1		
協力業者リスト		2		
使用材料並びに品番		2		
官公庁提出書類及び許可・完了・検査済証等		1		
完成届	A4	2		
請求書	A4	2		
公有財産受渡書	A4	2		
引渡書	A4	2		

【別添資料 11】ＰＲ施設設計・建設要求水準

	予定面積	要求内容	備品等
市場ＰＲ施設全体	適宜、提案による	○自然で新鮮な食材を扱う市場のイメージをより高め、市場からの情報発信の中核的施設にふさわしい機能、意匠を実現すること。	
フードスタジオ	適宜、提案による	○料理教室だけでなくギャラリーや他の催事スペースとしても利用可能な空間とすること。その場合はオープンスペースを含めて 80 人程度の収容を想定する。 ○料理教室としては一回 30 人程度までの利用を想定する。調理後はくつろいで食事のできる快適な空間であること。車椅子での利用も考慮すること ○採光、通風に配慮した清潔で開放的な空間であること。 ○類似施設と比べ機能面、意匠面で競争力のあるものとすること	厨房機器、固定棚等はｻｰﾋﾞｽ購入費の対象とする(イス、什器等についてはテナント(事業者)工事とする)。
事務室	適宜提案による	○受付などを含む事務作業及び講師控を設けること。 ○資料庫を設けること（フードスタジオの一角でもよい）。	
オープンスペース	適宜提案による	○屋内／屋外的な使用が可能な構造のオープンスペースを設けること。 ○フードスタジオとの一体的な使用が可能であること。	机、イス、什器・備品等については施設利用者（事業者)工事とし適宜提案。
その他	適宜、提案による	倉庫、便所、機械室等を適宜設けること。	

【別添資料 12】発泡スチロール減要設備要求水準

1.　要求仕様

ア.　破砕機器概要

項目	内容
処理能力	300 kg／h
台数	１台
動力	12.5 kW

イ.溶融機（攪拌摩擦熱方式）

項目	内容
処理能力	100 kg/h
台数	2 台
インゴット寸法	200 リットル／h
冷却水使用量	28.675 kW
動力	12.5 kW

ウ.補機

ａ.溶融機脱臭機

ｂ.発泡スチロールストックタンク

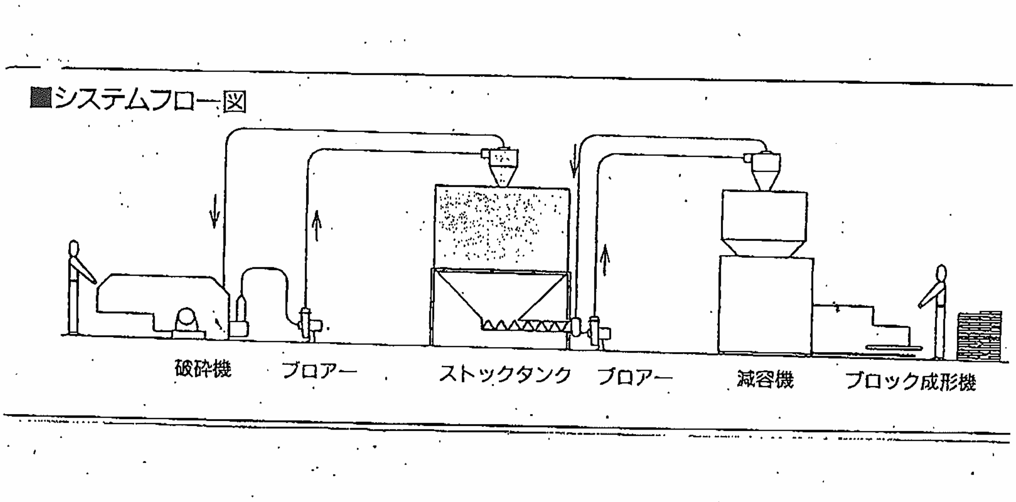
ｃ.冷却水チラー設備一式

エ.参考品番

既設設備の品番を参考として次に示す。

（株式会社　名濃　ＦＭ－１００ＮＢ）

オ.システムフロー図（参考図）



【別添資料 13】ダンボール圧縮機概要

現況の作業工程は次の通り（参考）

１．　ホッパ内に投入されたダンボールが一定量に達すると光電管検出により、シリンダ前進指令がだされ、メインシリンダが前進し、定盤により圧縮成型し、自動端ストロークにて停止後、後進し、後進端にて停止する。

２．　圧縮成型の際、余剰のダンボールは、本体フレームとメインシリンダ定盤上部に設置した刃物により、切断排除する。

３．　上記動作を数回繰り返し行い、圧縮成型されたダンボールがあらかじめ設定された希望長さに達すると、定寸カウンタ装置により結束指令をだし、自動的にメインシリンダが前進端にて停止。

４．　その後、結束を行い、ワイヤを切断する。

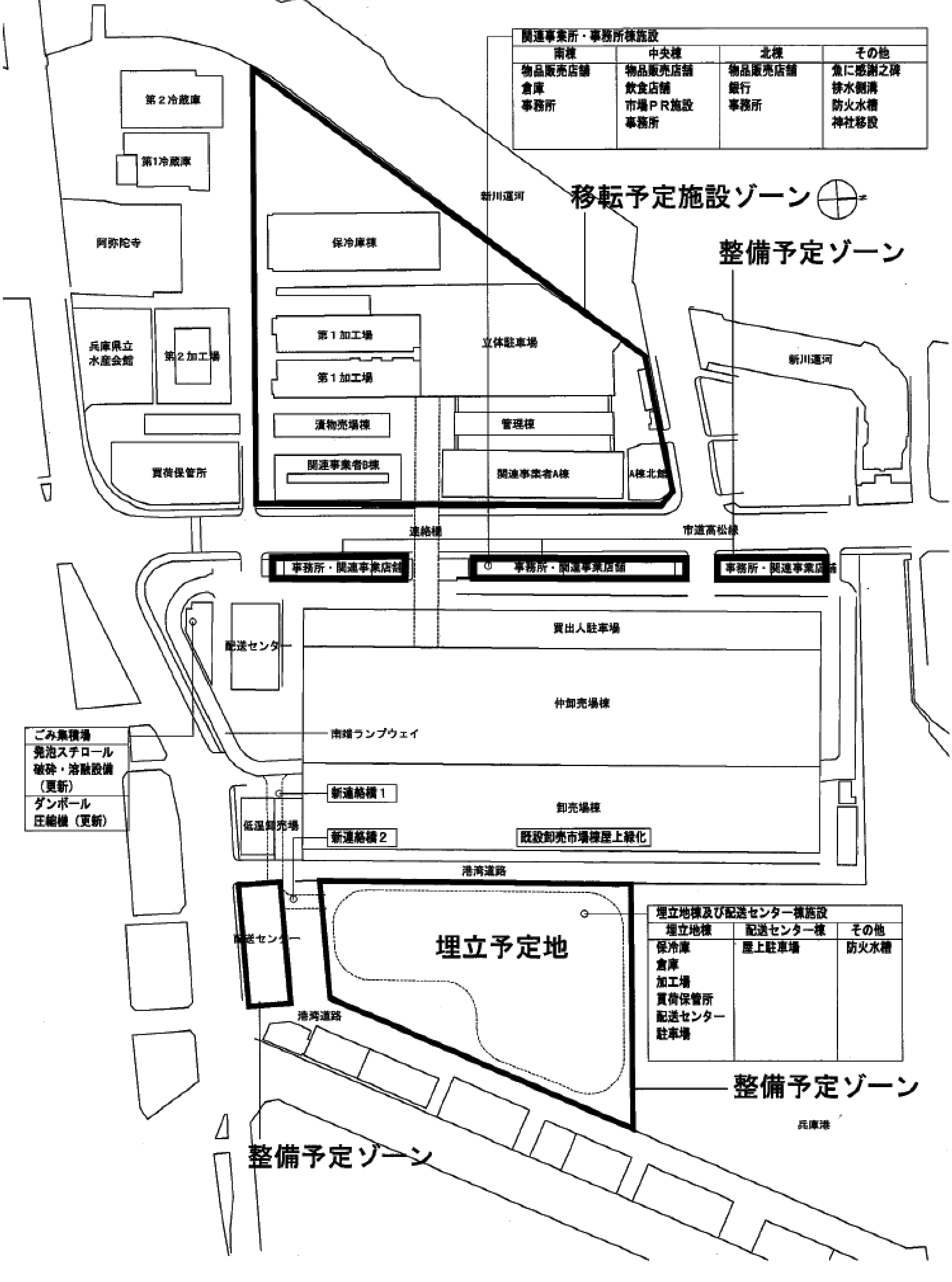
５．　メインシリンダが後進し、後進端にて停止する。

６．　以上により１個の製品が完成する。

項　　目		内　　容	備　　考
油圧梱包プレス機	処理能力	0.5～1.0 トン／ｈ	
	台数	１台	
	１日あたりの処理量	約４０００ｋｇ	
	１日の作業時間	６時間	
	１枚の製品寸法	７００×７００×１７００（mm）	
	１枚の重量	約３５０ｋｇ	
	１日の製品枚数	約１２～１３個	
	冷却水使用量	２６ﾘｯﾄﾙ／ｍｉｎ	
	圧縮力	４２．２トン	
	１台あたりの動力	１５．０kW／ｈ	
結束機	結束方式	自動結束φ３．２なまし鉄線横３本掛	
	動力	０．７５kW／ｈ	
形　　式		ＬＢ－１５０－Ｓ	
製　造　業　者		渡辺鉄鋼（株）	
経　　費		電気、メンテ費用等は開設者負担	

製品は毎日場外業者が、引き取りにくる。

別添資料14　計画対象案内図

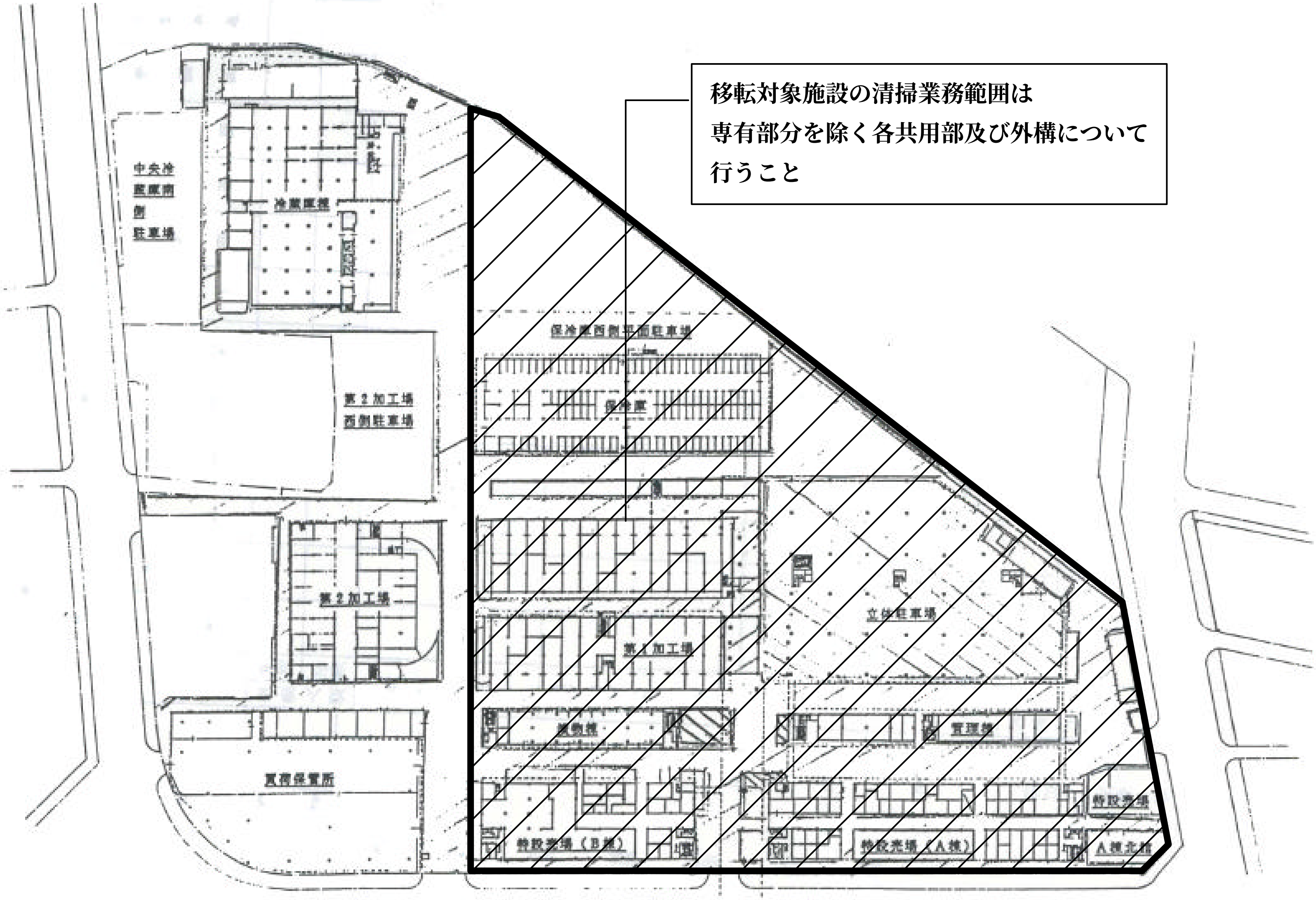


関連事業所・事務所棟施設

南棟	中央棟	北棟	その他
物品販売店舗	物品販売店舗	物品販売店舗	魚に感謝之碑
倉庫	飲食店舗	銀行	排水側溝
事務所	市場ＰＲ施設	事務所	防火水槽
	事務所		神社移設

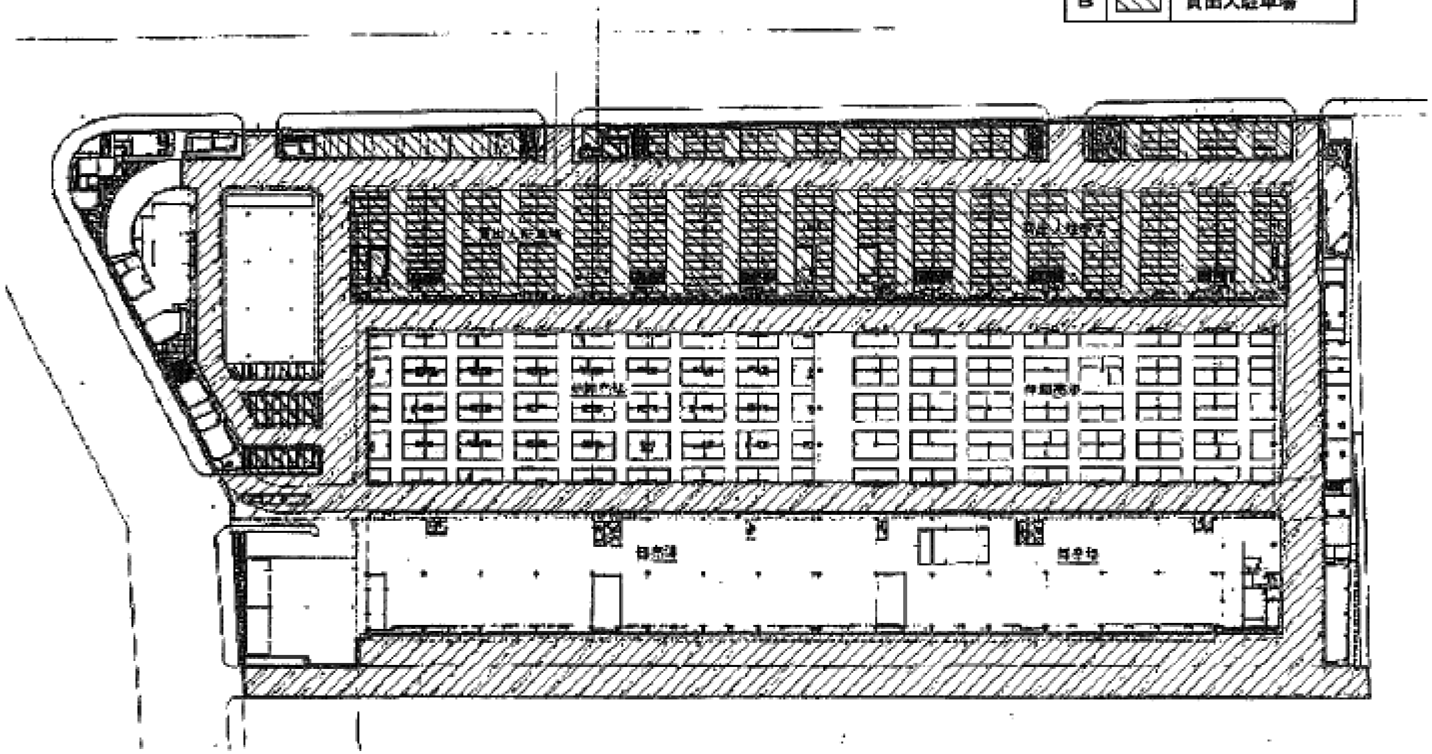
埋立地棟及び配送センター棟施設

埋立地棟	配送センター棟	その他
保冷庫	屋上駐車場	防火水槽
倉庫		
加工場		
買荷保管所		
配送センター		
駐車場		



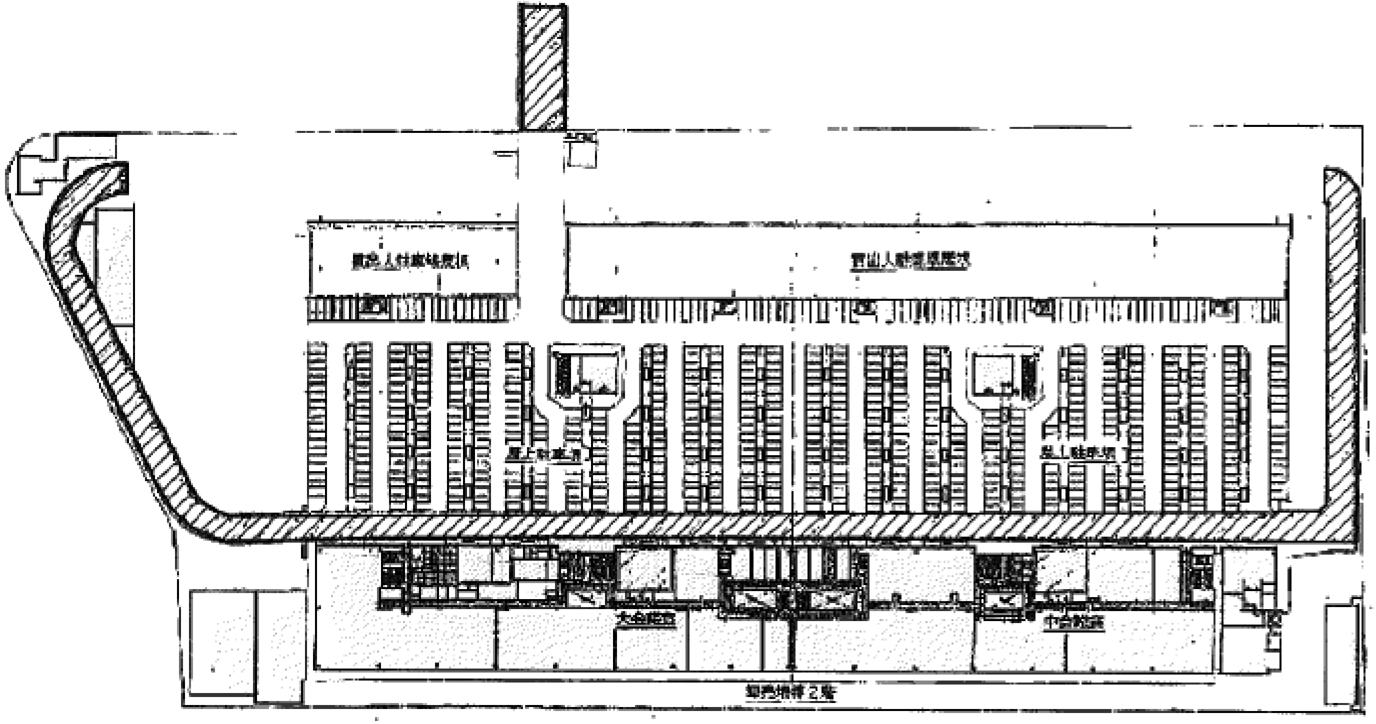
【別添資料 15】移転対象施設（西側既存施設）清掃業務範囲図

A	▨	通路等共用部分
B	▧	買出人駐車場



【別添資料 15】東側既存施設清掃業務範囲図 1 階

A	▨	通路等共用部分



【別添資料 15】東側既存施設清掃業務範囲図２階